Panasonic®

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BR130

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（159 ～ 161 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

接続と設定を行ってください ▶ 9 ページ

詳しい接続、設定については、118 ページをご覧ください。

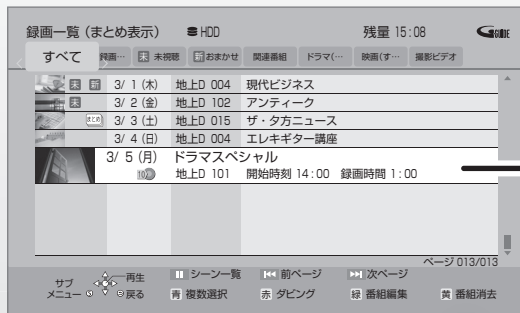
VQT4M40

「操作」についての

紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は　表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

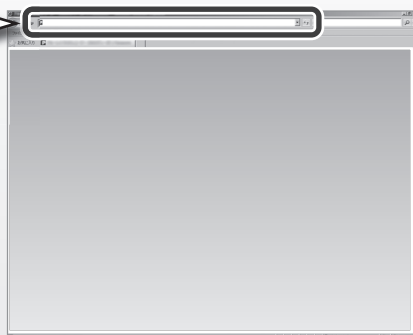
例)操作できるボタンの表示

補足説明

表示 マークが付いた画面が表示されたとき

表示 ボタンを押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

2 連携機器情報などの詳しい情報は 当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。（本機からホームページをご覧になることはできません）

本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる**「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」**
- 連携できる機器品番情報などを確認できる**「動作確認情報一覧」**
- 困ったときや、用語を調べたいときの**「よくあるご質問」**など

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本機の「特長」

関連番組まとめて予約 お好みの項目に関連した番組を自動で予約録画できます。

動画

▶ 53、75 ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の取り込みができます。

写真

▶ 77、80 ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真の再生や取り込みができます。

別売のUSBハードディスク※1に対応

▶ 114 ページ

※1 以降、USB-HDDと表示

▶ 84 ページ

HDMIケーブルでビエラとつなげば、ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます。

ネットワークにつないで楽しむ

ディモーラ/ミモーラ

▶ 26、108 ページ

ディモーラでは、星占いの詳細情報などの受信や、外出先から本機の録画予約ができます。
ミモーラでは、録画した番組の中から見たいシーンの検索などができます。

1ヵ月の番組表/注目番組

▶ 37、39 ページ

1ヵ月の番組表※2や注目番組※3を表示することができます。

※2 インターネットで番組情報を提供している放送局のみ（2012年9月現在、WOWOW、スター･チャンネルのみ）

※3 インターネットで番組情報を提供している放送局のみ（2012年9月現在、NHK、WOWOW、スター･チャンネルのみ）

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（➜159 ～ 161 ページ）

接続

設定

（➜ 次ページに続く）

目次（続き）

視聴

録画

再生 / 編集

ダビング

他の機器と

「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜159 ～161 ページ)

写真 / 音楽

便利機能

必要なとき

本機の設置について

●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。

本機
ビデオ

タバコの煙や,超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけてください。

つゆつきについて
冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期
●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。
●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[電源⏻/I]を
3秒以上押す

本機の電源が切れます。
故障かな !? と思った場合 ➜136

本機を廃棄 / 譲渡するときは

116 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

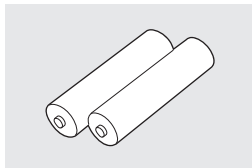
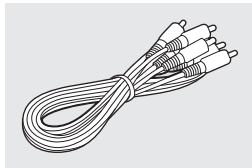
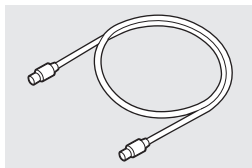
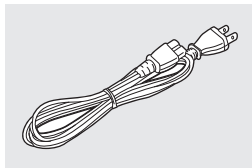
Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について

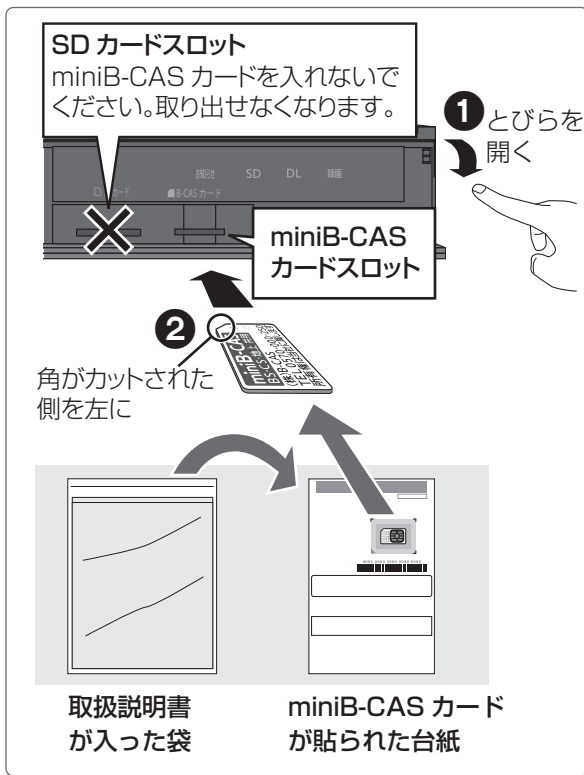
●本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
●本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

接続と設定を行ってください

付属品

リモコン（1 個）
N2QAYB000821

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池

映像・音声コード（1 本）
K2KYYYY00048

アンテナケーブル（75Ω 同軸ケーブル）（1 本）
K2KYYYY00040

電源コード（1 本）
K2CA2YY00217

miniB-CAS カード（1 枚）
- 台紙に貼り付けてあります。
- 本カードの紛失時は（➜119）

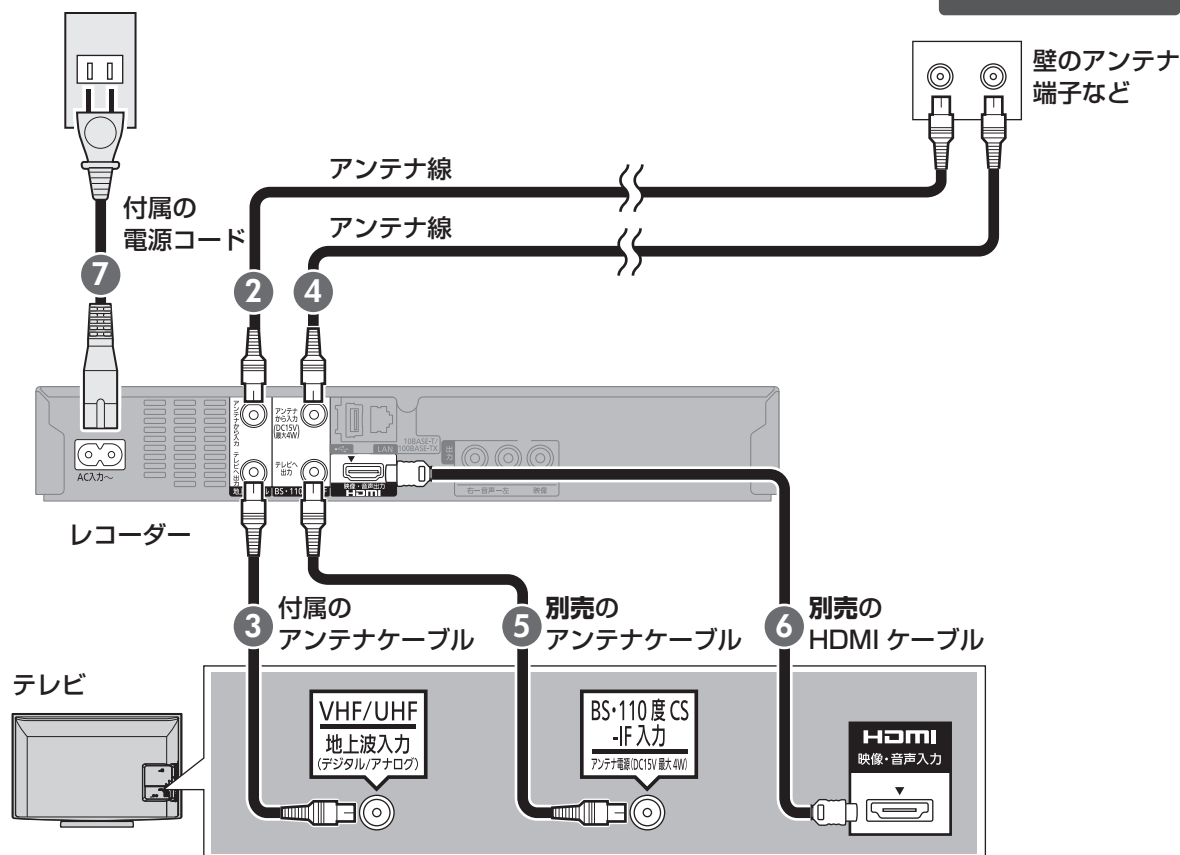
- 電源コードキャップ※および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
  ※付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2012 年 9 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

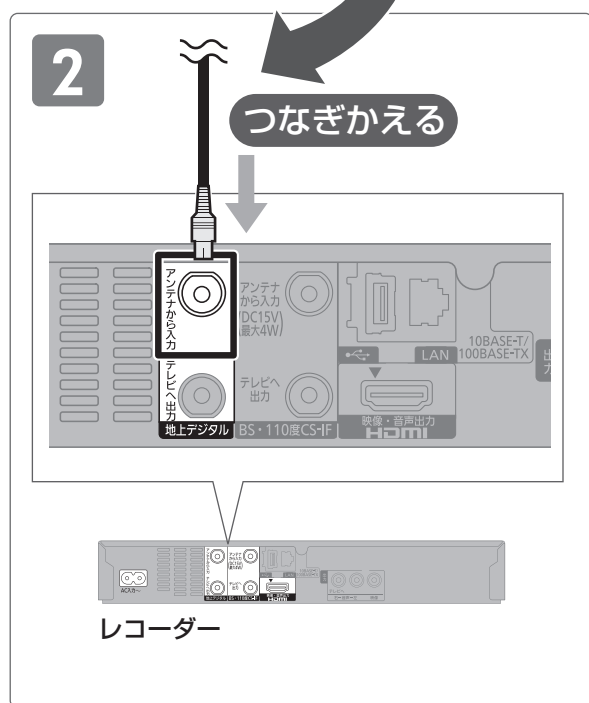
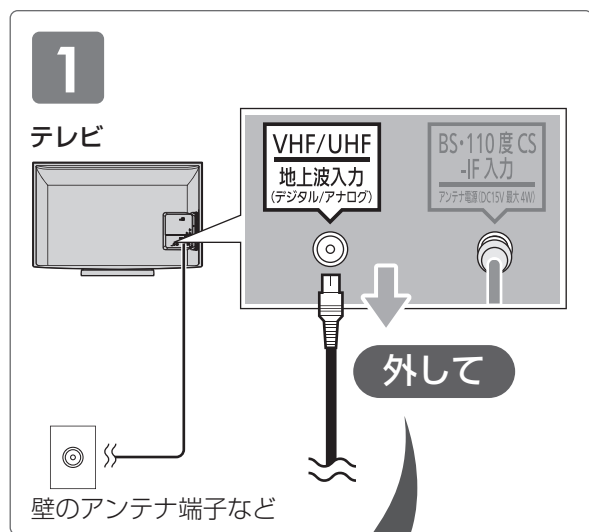
CLUB Panasonic
携帯電話からもお買い求めいただけます。

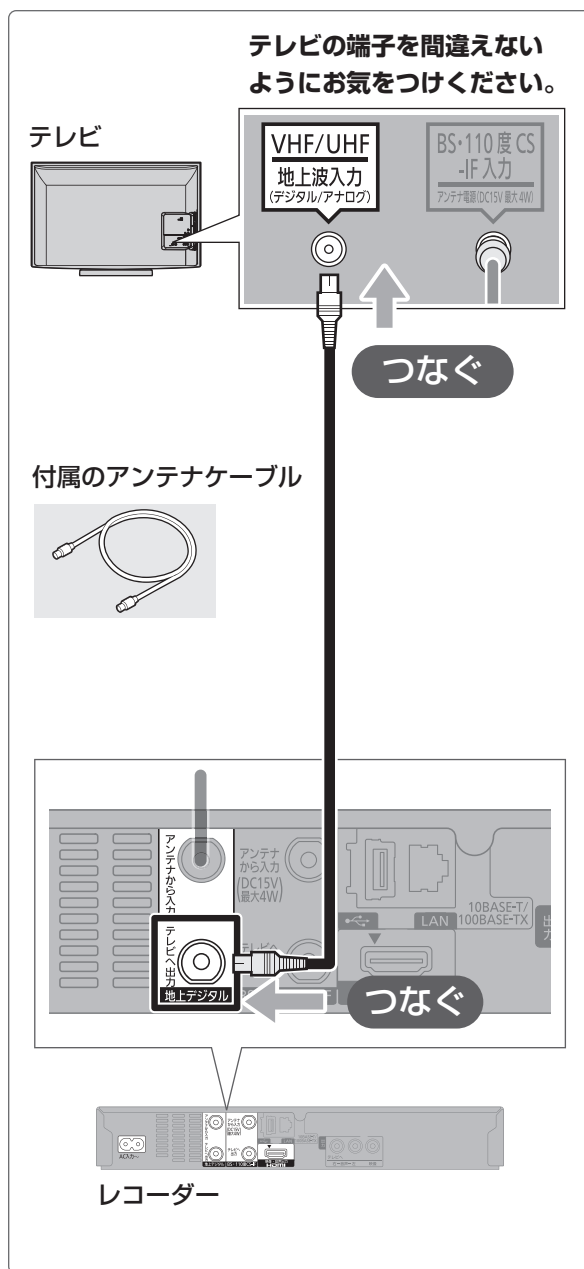
http://p-mp.jp/cpm/

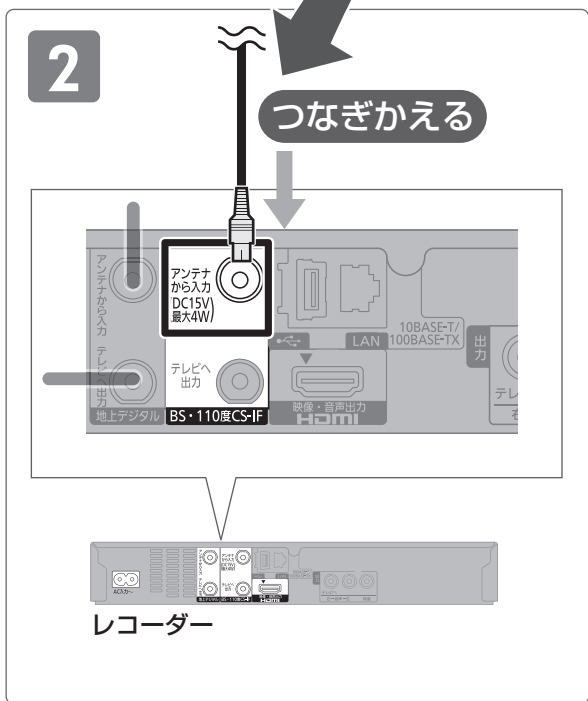
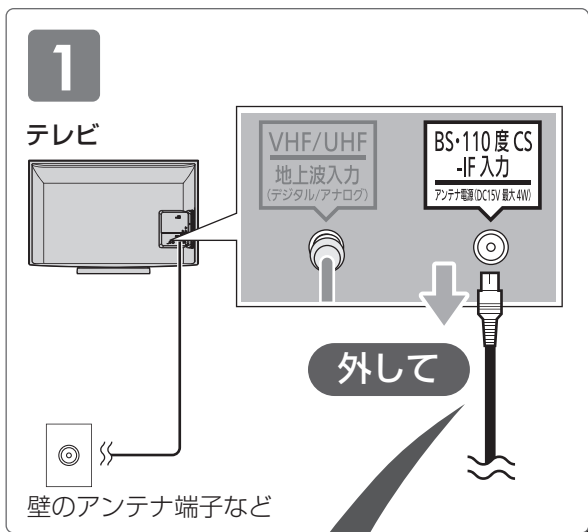
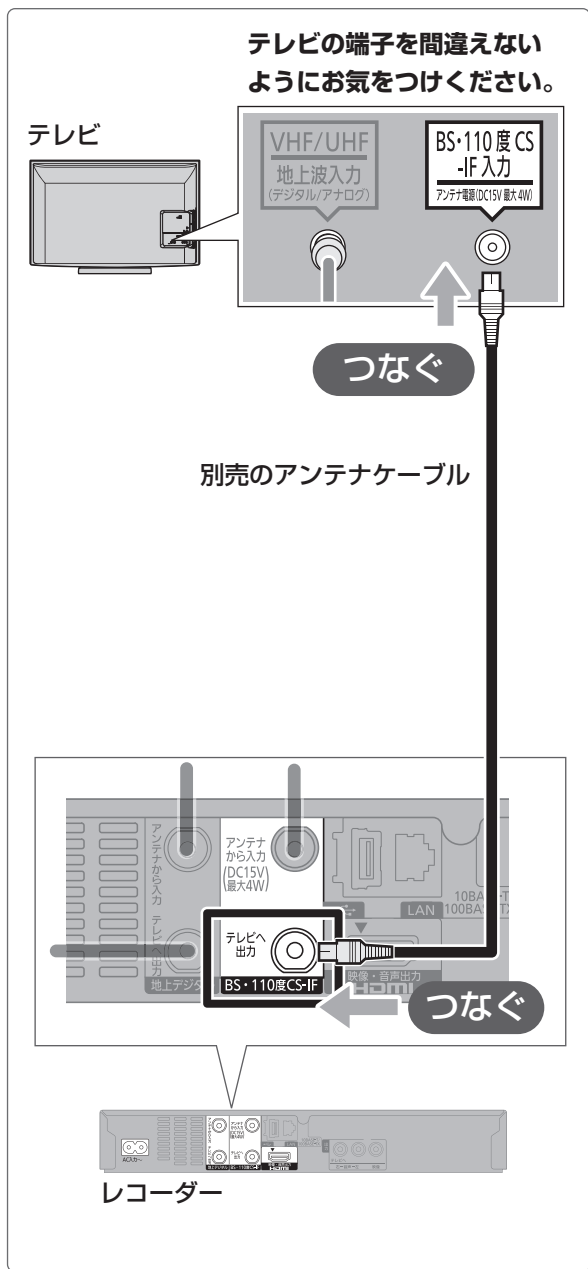
接続と設定を行ってください（続き）

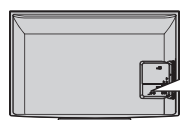
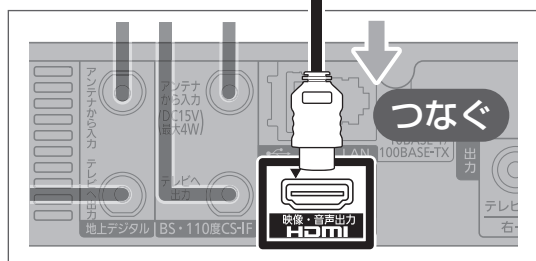
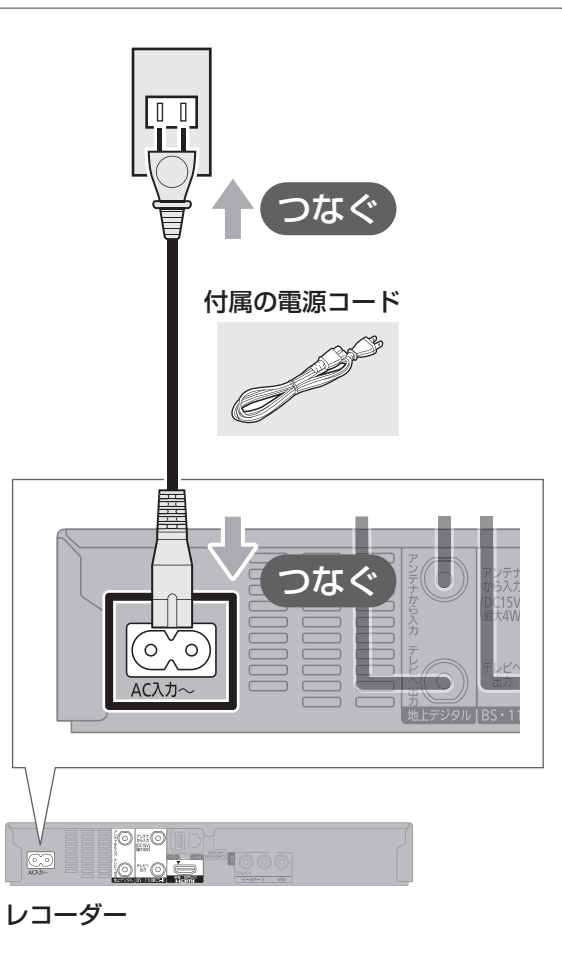
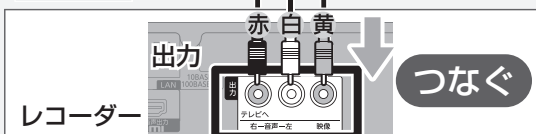
ご家庭のアンテナ端子に合わせて接続してください

当社ホームページの**「つなぎ方ナビゲーション」**では、お使いの当社製機器に合わせた接続方法がご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/

② 地上デジタル放送 アンテナをつなぎかえる

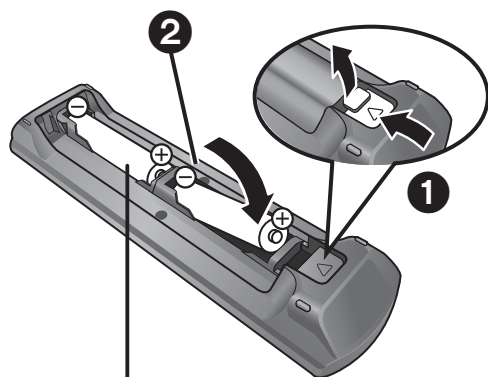
テレビにつないでいるアンテナ線を外して
レコーダーにつなぎかえます。

③ 地上デジタル放送 アンテナケーブルをつなぐ

付属のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

BS・CS を視聴しない場合、以下の接続は不要です。⑥ に進んでください。

テレビにつないでいるアンテナ線を外して
レコーダーにつなぎかえます。

別売のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

お勧め HDMI ケーブル（別売）を使う場合

ハイビジョンの高画質な映像で番組を見ることができます。

HDMI ケーブルを使わない場合

HDMI ケーブルを使う場合、この接続は不要です

⑧ 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れる

付属の単3形乾電池

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

2 レコーダーの電源を入れる

緑に点滅後、点灯

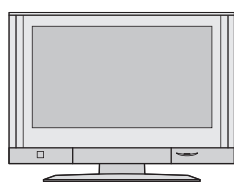
レコーダーのリモコン

レコーダーに向けて押す

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。（➔106）
- 本機のリモコン受信部（➔16）に向けて、まっすぐ操作してください。

当社ホームページの「**つなぎ方ナビゲーション**」では、お使いの当社製機器に合わせた接続方法がご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/

⑨ 設定をする

1 テレビの入力を切り換える

2 画面に従って設定する

かんたん設置設定
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。
開始 | 中止 | 設定しない
項目選択 決定

レコーダーのリモコン

レコーダーに
向けて操作

などで操作

接続と設定について詳しくは…

映像・音声端子でテレビと接続する 123ページ
アンプと接続する 124ページ
ネットワーク接続をする 125ページ
かんたん設置設定をする 130ページ
かんたんネットワーク設定をする 132ページ

各部の働き

本体前面

前面とびらの開けかた
とびらの横に指をかけ、下に向けて倒してください。

電源を切／入する

ディスクトレイ

ディスクトレイを開閉する

お知らせ　SD　DL　録画

SDカード　B-CASカード

赤・電源/緑・入

電源ランプ
電源「切」状態で赤、
電源「入」状態で緑に点灯します。
- 「電源（赤）ランプ表示」（➜103）で電源「切」時に消灯するように設定することができます。

SDカードを入れる

miniB-CASカードを入れる（➜119）

リモコン受信部
受信範囲
・正面…約7 m以内
・左右…各約30°
・上下…各約20°

ランプ
以下の場合に点灯します。

お知らせ：本機にエラーが発生した場合など
- 「こんな表示が出たら」（➜135）で確認してください。

SD：SDカードの読み書き時（点滅）

DL：ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中

録画：録画中
- 予約録画が始まる前の約3分間や録画ができない状態のときは点滅します。

本体背面

地上デジタルアンテナ端子（➜121）
USB 端子
LAN 端子（➜126）
AC 入力端子（➜129）
通風孔（側面）
AC入力～
地上デジタ
BS・110度CS-IF
映像・音声出力
10BASE-T/
100BASE-TX
LAN
テレビへ
右ー音声ー左
映像
通風孔
映像・音声出力端子（➜123）
HDMI 出力端子（➜121）
BS・CS デジタルアンテナ端子（➜121）

はじめに

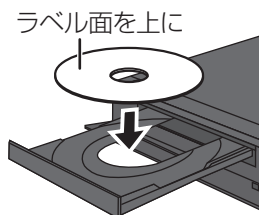
各部の働き（続き）

リモコン

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

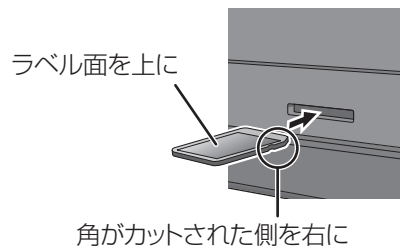
本体の ⏏開/閉 を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜117)
- 傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ·カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）は、本機では使用できません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）
  - ·DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(➜ 下記)（TYPE1 は使えません）
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**

❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- **本体の“SD”ランプ点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

❶ ❷ ❸

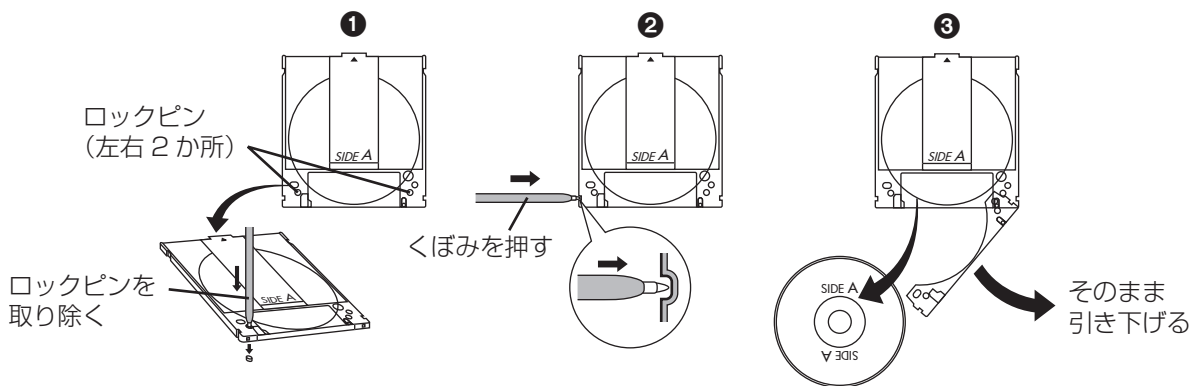
ロックピン（左右 2 か所）

ロックピンを取り除く

くぼみを押す

そのまま引き下げる

SIDE A

はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類 ロゴ	BD-RE	BD-R
記録可能なディスク	Ver.2.1（1 層 /2 層）、 Ver.3.0（3 層）に対応した 2 倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3（1 層 /2 層）に対応した 6 倍速メディア、Ver.2.0（3 層 /4 層）に対応した 4 倍速メディアまで
記録可能な回数	繰り返し使用可能	1 回のみ
記録できるコンテンツ	番組　写真	番組
記録できる画質	●録画では、放送画質のまま記録します。 （従来の当社製ブルーレイディスクレコーダーの DR モード相当） 録画モードの変更はできません。 ●ダビングでは、ダビング元の画質のままダビングします。	
フォーマットは？ （➜91）	必要	
備考	●DL, BDXL™ にも記録できます。 ●カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。 （カートリッジからディスクを取り出しても使えません） ●2012 年 9 月現在、BD-R（片面 4 層）は発売されていません。	

●8 cm ブルーレイディスクへは記録できません。

●本機は DVD ディスクへは記録できません。再生のみできます（➜111）

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

●LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
●本機に取り込んだ動画（AVCHD）は、再生できない場合があります。
●DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

はじめに

お知らせ

●ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※　DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。（DVD ディスクは本機では記録できません）
  - ・AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  - ・VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  - ・ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V) （ただしファイナライズ後は DVD-V）
- ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

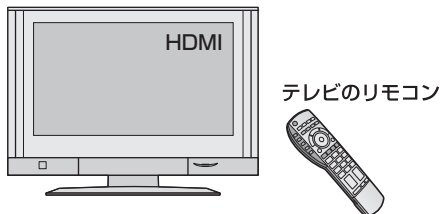
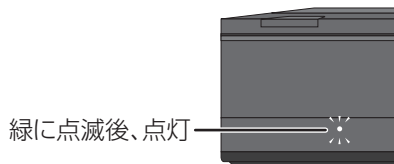
USB-HDD を接続時の操作について	本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。USB-HDD を接続している場合にできる操作については、USB-HDD と表示しています。 接続できる USB-HDD については（➔114）

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 **テレビの電源を入れる**

2 **テレビのリモコンで、入力切換の操作をする**

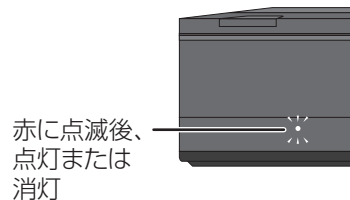
●本機を接続した入力に切り換えてください。
（HDMI、ビデオ 1 など）

3 **本機のリモコンの** **を押す**

●テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

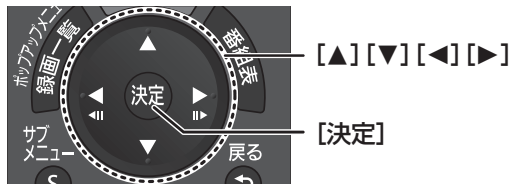
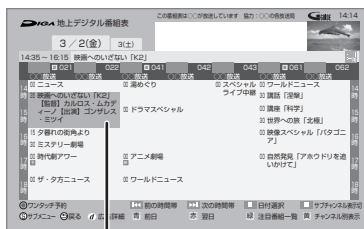
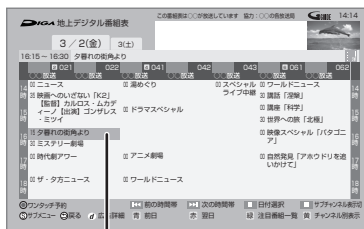
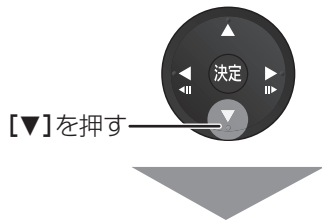
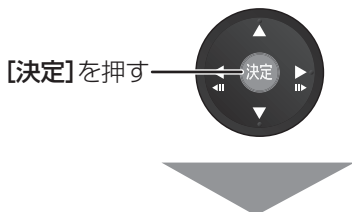
●テレビの入力を確認してください。

●接続を確認してください。(➜119～129)

本機の電源を切る

本機のリモコンの **を押す**

操作の前に (続き)

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

黄色になります。

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、決定 を押す
と記載しています。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 を押す

2 項目を選び、決定 を押す

新着お知らせアイコン(➔下記)

全機能から選ぶ

スタート画面に表示できるすべての機能を一覧表示して選ぶことができます。

●スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

● 新着お知らせアイコンについて

以下の機能で新着情報があるときに表示します。

・おまかせ録画を見る※

・最新録画番組を見る※

・ディモーラからのおすすめ

・メール / 情報・診断コード

・星占い

※ 電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。新着情報があるときは、番組のサムネイルを表示します。

はじめに

スタート画面について（続き）

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(➜28)

分類	表示できる機能	備考
見る	録画番組を見る	(➜52)
	最新録画番組を見る	(➜55)
	おまかせ録画を見る	「新番組おまかせ録画」(➜41) で録画した番組を視聴します。
	写真を見る	(➜77)
	撮影ビデオを見る	(➜55)
	ミモーラ検索	録画した番組の中から、見たいシーンなどをキーワードで検索することができます。ご利用になるには、下記ホームページで会員登録を行ってください。 http://r.me-mora.jp/
番組を探す・予約する	予約する	(➜34)
	予約確認する	(➜47)
	関連番組まとめて検索	(➜42)
	新番組おまかせ録画	(➜41)
	放送局からのおすすめ (注目番組)	(➜39)
	ジャンル検索	(➜40)
	お好み番組表	お好みチャンネル (➜30) で登録された放送局のみを番組表に表示します。

分類	表示できる機能	備考
残す	ダビングする	(➜70、72)
ネットワーク機能を使う	ディモーラからのおすすめ	お勧め情報や占い情報が配信されます。詳細情報を受信したい場合、下記ホームページで会員登録を行ってください。 http://r.dimora.jp/
	星占い	
設定する・その他の機能	設定する	(➜94、100)
	メール／情報・診断コード	(➜93、136)
	壁紙設定	(➜28)
	お好み設定リセット	(➜28)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD内のデータを表示します。

スタート画面について（続き）

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
（「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません）

表示する機能を変更する

1 **[スタート] を押す**

2 **変更したい機能を選び、[サブメニュー] を押す**

3 **「機能を登録する」を選び、[決定] を押す**

4 **メニューを選び、[決定] を押す**

5 **表示したい機能を選び、[決定] を押す**

●登録できる機能については （➜26）

6 **「はい」を選び、[決定] を押す**

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

① **[スタート]** を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「設定する・その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④ 「お好み設定リセット」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

壁紙を変更する

1 **[スタート] を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す**

3 **「設定する・その他の機能」を選び、[決定] を押す**

4 **「壁紙設定」を選び、[決定] を押す**

5 **壁紙を選び、[決定] を押す**

●「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」（➜78）を行ってください。

6 **[戻る] を押す**

●壁紙設定を終了します。

かんたんスタート画面を表示する

かんたんスタート画面を使うと、よりわかりやすい画面で番組の予約や再生を行うことができます。

1 **[かんたんスタート] を押す**

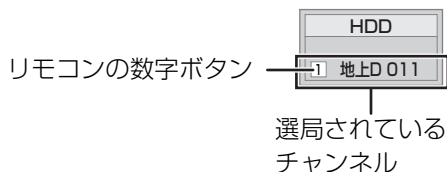
2 **項目を選び、[決定] を押す**

●操作方法は、「かんたん操作ガイド」をご覧ください。

テレビ放送を見る

1 地上 BS CS(1/2) **を押して、放送を選ぶ**

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

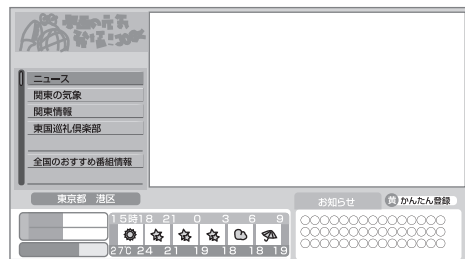
2 1 ～ 12 または チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **本機では、データ放送を録画できません。**
  録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、データ d を押す**

2 **見たい項目を選び、決定 を押す**

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

[データ d] を押す

視聴

お知らせ

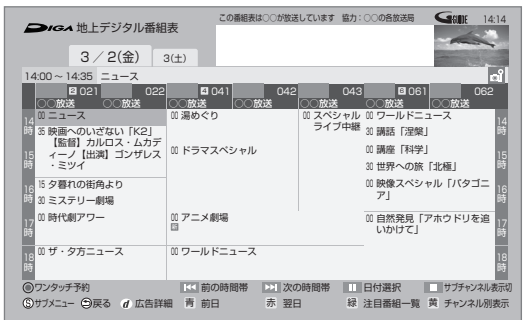
- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
- 録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

テレビ放送を見る（続き）

その他の選局方法

番組表から選局

❶ を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定 を押す

☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上] [BS] [CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

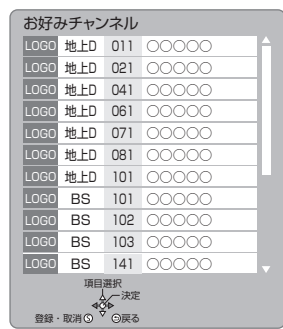
❶ テレビ視聴中に、3桁入力 消去 を押す
- 押すごとに放送が切り換わります。

❷ 1 〜 10 を押して、チャンネルを入力する
例）101 の場合…[1] → [10] → [1]
- 画面が表示されている間に入力してください。

☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
地上デジタル （➜32「枝番選局」）

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、 を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

■チャンネルの登録
① 登録したい放送局を視聴中に、
[❚❚ 一時停止 / お好みチャンネル] を押す
② [サブ メニュー] を押す
③「登録」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す
- リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

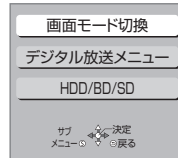
■チャンネルの取り消し
① [❚❚ 一時停止 / お好みチャンネル] を押す
② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す
③「取消」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ
- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大
画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ サブメニュー S を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷「画面モード切換」を選び、を押す

❸ 画面モードを選ぶ

ノーマル：
元の映像で表示します。

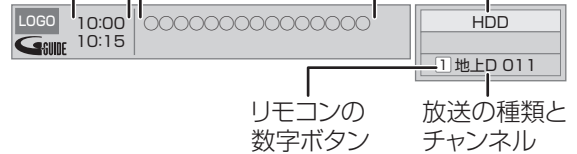
サイドカット：
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム：
4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ･他のチャンネルを選局
  - ･番組の再生を始める、または終了する
  - ･電源を切 / 入
- 番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- 「TVアスペクト」(➜103) を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

表示 を押す

表示を消すには
[表示] を数回押す

音声を切り換える

音声 を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

視聴

放送内容などの設定

テレビ視聴中に

❶ サブメニュー［S］を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度［サブ メニュー］を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、［決定］を押す

❸ 設定項目を選び、［決定］を押す（➜ 右記へ）

例）
デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示切
信号切換
アンテナレベル
枝番選局
項目選択
決定
戻る

項目	内容
視聴制限一時解除	暗証番号（➜95）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー：主番組 映像：映像1 音声：日本語 二重音声：主 データ：データ1 字幕：入／切 字幕言語：日本語／英語 項目選択　設定変更　戻る **設定する項目を選び、設定する**
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 （地上デジタル）	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例：「011-0」、「011-1」） 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、［決定］を押す** 枝番選局　3桁番号：011 011-0　LOGO　○○○○○　主選局 011-1　○○○○○ 011-2　○○○○○ 枝番切換　選局　戻る 青　赤　緑 主選局変更　黄 **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、［緑］を押す

お知らせ

●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

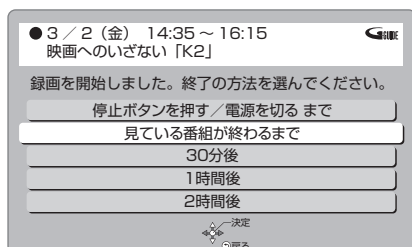
1 [地上] [BS] [CS 1/2] **を押して、放送を選ぶ**

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 [1] ～ [12] または [チャンネル] **を押して、チャンネルを選ぶ**

3 [ワンタッチ予約 録画] **を押す**

"録画"が点灯

4 録画の終了方法を選び、[決定] を押す

☞ **録画を止めるには**

[■ 停止] を押す

お知らせ

- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
  ・予約録画はできます。
- 予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 有料放送の視聴や録画をするには、放送会社と契約した miniB-CAS カードが必要です。付属のminiB-CASカードで契約してください。

録画中のいろいろな操作

録画を止める

[■ 停止] **を押す**

一時停止する

[❚❚ 一時停止] **を押す**

- もう一度押す、または [**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

録画しながら再生する

追っかけ再生：

HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生します。

同時録画再生：

録画中に録画済みの番組を再生します。

ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1

を押す

2 番組を選び、[決定] を押す

予約録画する

HDD BD-RE BD-R USB-HDD

DVD に予約録画することはできません。

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、[戻る] を押して画面を消してください。

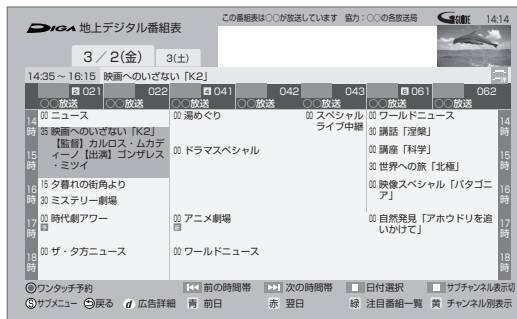
例）

BD-RE

かんたんダビング

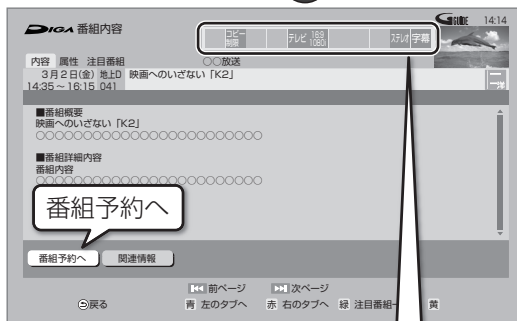
ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

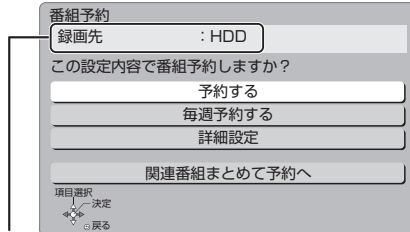
1 番組表 **を押す**

2 番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **番組を検索するには（➜40）**

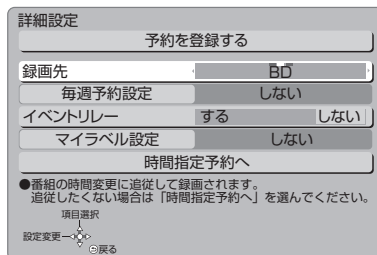
3 決定 **を押す**

4 「番組予約へ」を選び、 決定 **を押す**

5 項目を選び、決定 を押す

●ディスクや USB-HDD に予約録画する場合は、「詳細設定」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

予約内容を確認してください。

予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録（➜49）

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（➜44）

関連番組まとめて予約へ：
お好みの番組を自動で登録（➜42）

お知らせ

- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）全チャンネル表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- **パネル広告について**
  インターネットに接続し、「通信による G ガイド受信」(➜94)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

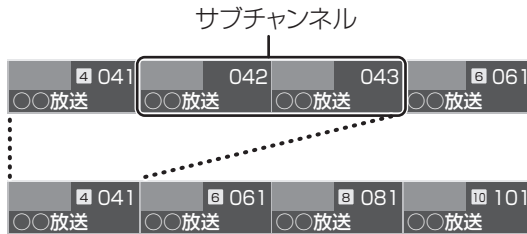
番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS 1/2 CS を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

■停止 を押す

お知らせ

- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

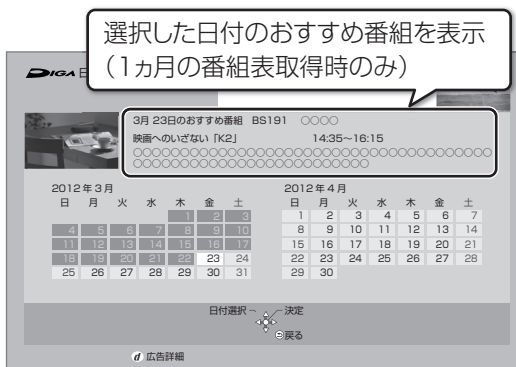
日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

青（前日）赤（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ ❚❚一時停止 を押す

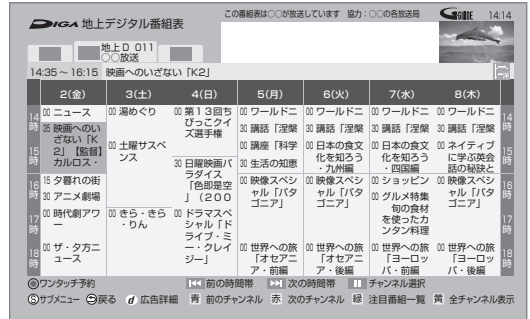
❷ 日付を選び、決定 を押す

お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
  さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」（➔94）を「入」にすると、１ヵ月の番組情報を取得することができます。（2012年９月現在、インターネットから１ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOW、スター・チャンネルのみです）

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

❷ 黄 を押す

全チャンネル表示に切り換えるには

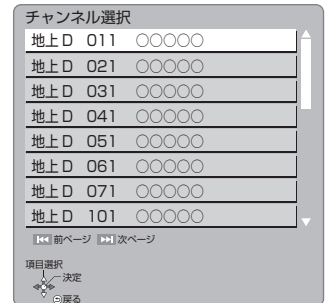
[黄] を押す

別のチャンネルを表示するには

チャンネル別表示中に
[青][赤] を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① [❚❚ 一時停止] を押す

② チャンネルを選び、[決定] を押す

お知らせ

- 1ヵ月の番組表を取得している場合、９日目以降の番組情報を取得するのには時間がかかります。

番組表の表示設定（続き）

1 番組表表示中に

サブメニュー [S] **を押す**

2 **項目を選び、設定する**

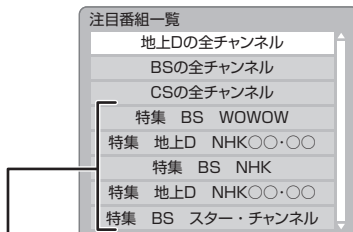
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜40)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜30) で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定] を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定] を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]** を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号（➜95）を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

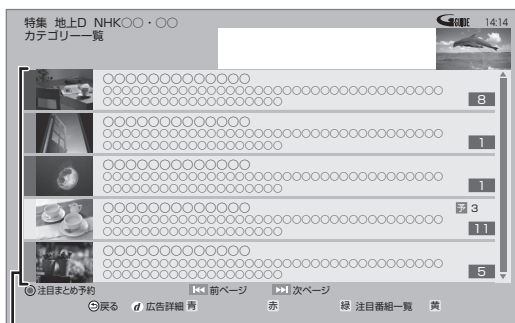
注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 **番組表表示中に**
[緑] を押す

2 **放送を選び、[決定] を押す**

●地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順 4 へ進んでください。

インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜94) を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2012年 9 月現在、インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、[決定] を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには
[緑] を押す (➜ 手順 2 へ)

4 **番組を選び、[決定] を押す**

カテゴリー

前後のページを見るには
[|◀◀] [▶▶|] を押す

他のカテゴリーを表示するには
[青] [赤] を押す
([❚❚ 一時停止] を押してカテゴリーを選択することもできます)

放送を変更するには
[緑] を押す (➜ 手順 2 へ)

5 **「番組予約へ」を選び、[決定] を押す**

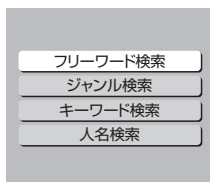
(「番組予約」のときは ➜35 手順 5)
(「時間指定予約」のときは ➜46 手順 3)

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

サブメニュー Ⓢ **を押す**

2 **「番組表の検索」を選び、決定 を押す**

3 **検索方法を選び、決定 を押す**

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ 検索条件を選び、決定 を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには

[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには

[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

❺ 番組を選び、決定 を押す

❻「番組予約へ」を選び、決定 を押す
（➜35 手順 5）

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件（5件まで）を登録し、 1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 を押す

❺ 検索方法を選び、決定 を押す

- 「フリーワード」は、文字を入力し（➜87）、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには

① 検索条件を選び、[決定] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す
③ 文字を入力する（➜87）

登録した検索条件を削除するには

① 検索条件を選び、[黄] を押す
② 「はい」を選び、[決定] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：

① 赤 を押す
② 検索したい放送を「入」に設定し、 を押す

❺ 青 を押す

別の日の検索結果を表示するには

[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

❻ 番組を選び、決定 を押す

❼「番組予約へ」を選び、決定 を押す
（➜35 手順 5）

お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜ 94）を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BSデジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大16番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD に予約します。

1 スタート **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す

4 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

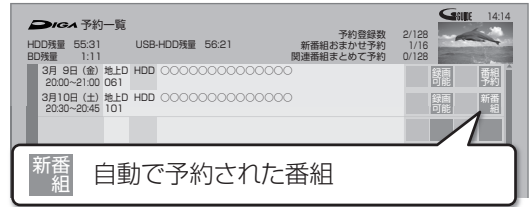
5 設定したい項目を選び、「入」にする

新番組おまかせ録画の設定

項目		
夜ドラマ（地上D）	入	切
夜ドラマ（BS）	入	切
アニメ（地上D）	入	切
アニメ（BS）	入	切

"入"に設定すると、新番組を自動録画します。
・録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
・HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。
項目選択
設定変更
戻る

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

予約内容を修正するには（➔47）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組や関連番組まとめて予約と予約が重なった場合、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先
  ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録はされません。

お好みの番組を自動で予約録画する（関連番組まとめて予約）

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目に関連する番組を毎日検索して自動で予約録画します。

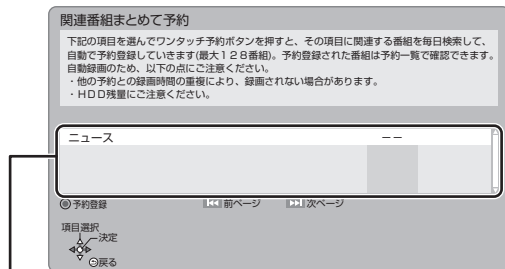
●登録できる項目数は 32 個までです。
●自動で予約される番組数は 128 番組までです。
● HDD に予約します。

選択した番組に関連した番組を自動で予約録画する

選択している番組に関連する項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（➔35 手順 5）表示中に
「関連番組まとめて予約へ」を選び、決定 を押す

●選択している番組に関連番組の情報がない場合、選択できません。

2 表示されている項目を選び、決定 を押す

選択している番組に関連した項目が表示されます。

検索機能を使って関連した番組を自動で予約録画する

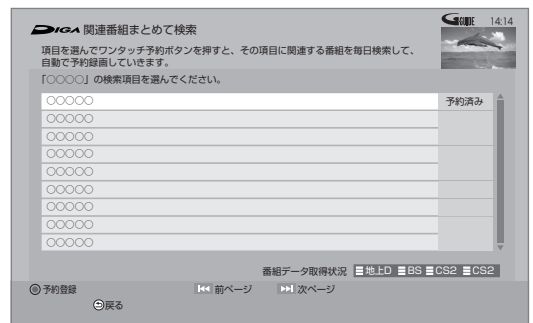
連続ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連した番組を自動で予約録画します。

1 スタート を押す

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

3 「検索する」を選び、決定 を押す

4 検索対象から項目を選び、決定 を押す

5 項目を選び、ワンタッチ予約録画 を押す

☞ **関連番組一覧を表示する場合**
手順 5 で [**決定**] を押す

登録した関連番組まとめて予約の確認、取り消し、修正

1 スタート **を押す**

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

3 「登録した予約を確認する」を選び、決定 を押す

■ 予約済み番組を確認する

❹ **確認したい項目を選び、決定 を押す**

- 予約番組を修正したい場合：
  ① 修正したい番組を選び、**[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押す
  ② 項目を選び、**[決定]** を押す
  詳細設定について（➜44）
  （予約番組を修正すると、関連番組まとめて予約の番組ではなくなります）

■ 取り消す

❹ **登録した項目を選び、ワンタッチ予約 録画 を押す**

❺ **「はい」を選び、決定 を押す**

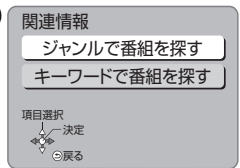
- すでに予約された番組は取り消されません。予約一覧（➜47）で取り消してください。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（➜34 手順 4）表示中に **「関連情報」を選び、決定 を押す**

2 項目を選び、決定 を押す

例）関連情報
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す
項目選択 決定 戻る

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）**[赤]**（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、**[❚❚ 一時停止]** を押して日付を選択することもできます）

3 番組を選び、決定 を押す

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す
（➜35 手順 5）

お知らせ

- 通常の番組や新番組と予約が重なった場合、関連番組まとめて予約は行われません。
- 関連番組まとめて予約同士が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
  ①開始時刻の早い番組を優先
  ②開始時刻が同じときは、地上デジタルとBSデジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
  ③放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの関連番組は、契約していない場合、自動登録されません。

予約録画する（続き）

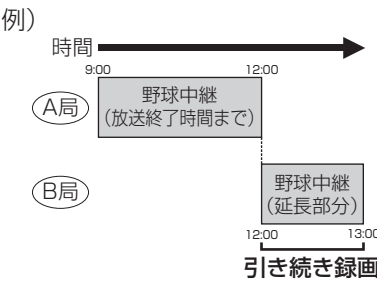
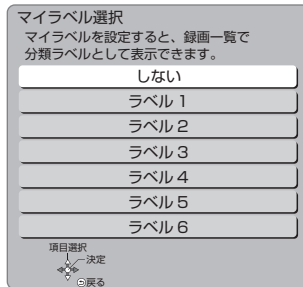
詳細設定をする

35 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 右記へ）

●「毎週予約設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、**[決定]** を押してください。

2 設定が終了したら、
「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画先	録画先を選びます。
毎週予約設定	「毎週予約」（➜49）を設定する ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます） 例） お知らせ ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が “BD” の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

マイラベル設定 **HDD**	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧 (➔54) で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(➔65) **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 **(➔56「分類ラベル設定」)**
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 **(➔46「時間指定予約」)**

録画

HDD BD-RE BD-R USB-HDD

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

3 予約内容を設定する

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

4「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜95）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、［戻る］を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。（➜100「時刻合わせ」）
- 番組追従機能（➜49）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。（➜44「毎週予約設定」）
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
番組名入力	●文字入力について（➜87） ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（➜45）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 **を押す**

2 **番組を選び、以下の操作を行う**

予約状況がマークで表示されます。
●「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
●表示マークについては ➜146 ～ 149

●実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
（ 消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます ➜ 右記）

予約の取り消し

❶ 黄 を押す

❷「はい」を選び、決定 を押す

予約内容の修正

❶ 決定 を押す

❷「修正」を選び、決定 を押す
（「番組予約」のときは ➜44「詳細設定」）
（「時間指定予約」のときは ➜46「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

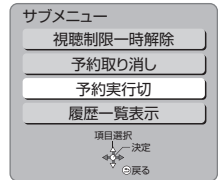
❶ 決定 を押す

❷「毎週一覧」を選び、決定 を押す

●予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(➜50)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S を押す

例）

❷「予約実行切」を選び、決定 を押す

●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●[サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

視聴制限の一時解除

暗証番号 (➜95) を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S を押す

❷「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す

❸ 1 ～ 10 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S を押す

❷「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す

●履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S を押す

❷「履歴削除」を選び、決定 を押す

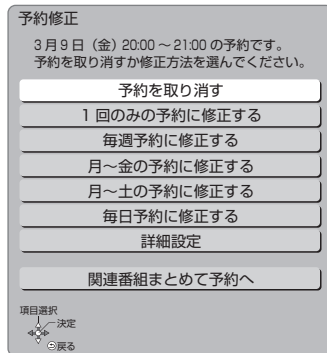
❸「はい」を選び、決定 を押す

●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画

番組表での予約の取り消し / 修正

❶「予」が表示されている番組を選び、

を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す

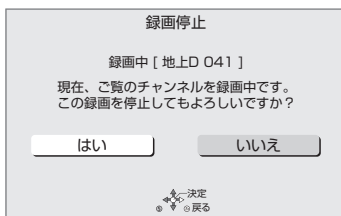
☞「詳細設定」を選んだ場合
「番組予約」のときは（➔44「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（➔46「時間指定予約」）

☞「関連番組まとめて予約へ」を選んだ場合
（➔42）

録画中の予約録画を止める

1 ■停止 **を押す**

2 「はい」を選び、決定 を押す

例）

●上記画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。（➔23）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜47)

■まとめ表示について まとめ **HDD** **USB-HDD**

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(➜57)

(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには（自動更新）HDD

「自動更新」(➜44) を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

●録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクや USB-HDD の残量不足などに対応（代替録画）

以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に "HDD" に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

●ディスクや USB-HDD の残量不足

●ディスクの入れ忘れ

●USB-HDD が接続されていない

●USB-HDD の電源が入っていない

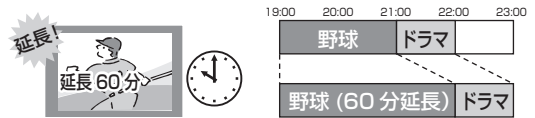
お知らせ

●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

番組追従機能

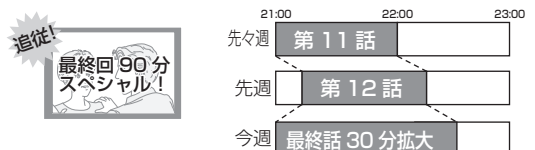
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」**(➜44)** を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(➜46)

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

予約録画に関するお知らせ

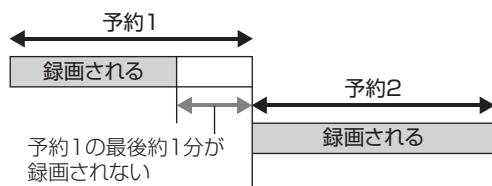
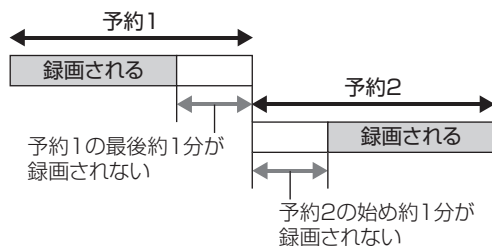
予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。
- ●録画中：
  予約録画の開始時刻になったとき
- ●ディスク再生中：
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき

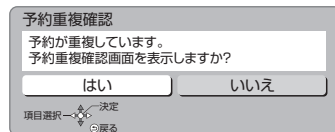
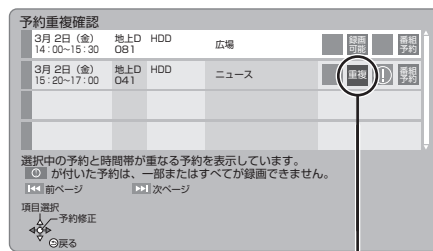
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

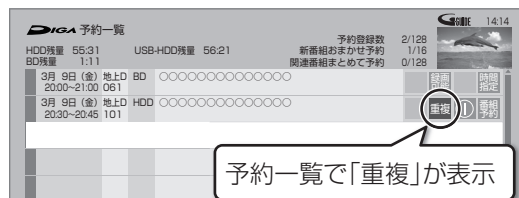
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
（35 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

例）
「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。

■コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は10またはを1を、ブルーレイディスクの場合は1を表示します。

10～1はダビングの残り可能回数を表します。

1の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 番組はダビング元から消去されます。(BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません)

- プロテクト設定(➜63)されている1の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人 デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp

再生する

録画した番組を再生する

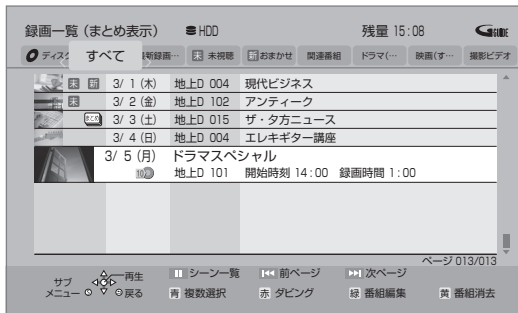
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例）BD-RE

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 **を押す**

2 番組を選び、決定 を押す

- 毎日・毎週予約した番組は、まとめ番組内に録画されます。
  まとめ番組を選んで、[決定] を押すと、まとめ番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 ：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 ：[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 ：[録画一覧]を押す

- 停止中に [1] ～ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
  DVD-V ：2桁入力　BD-V ：3 桁入力

お知らせ

- **表示マークについては（➜146 ～ 149）**
- 録画一覧は録画した日付順に表示されます。
  （まとめ番組は、最初に録画した番組の日付で表示します）
- 録画一覧表示中に [赤] を押すと、かんたんダビング（➜70）を行うことができます。
- 「1080/60p」の表示がある番組は再生はできますが、プログレッシブでは出力されません。

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。

撮影ビデオ（AVCHD）を再生する

AVCHD

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。

・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録（ただし、プログレッシブでは出力されません）

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例） SD

ディスクを入れた場合：
下記の手順 5 に進みます。
SD カードを入れた場合：
下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順 5 へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、決定 を押す

6 タイトルを選び、決定 を押す
☞ メニューが表示されないときは
[1] ～ [10] で３桁入力してタイトルを再生してください。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

4 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

5 プレイリストを選び、決定 を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例）

ラベル
- [◀] [▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態
- 表示を変えるには（➜56）

選択中のメディア

残量

録画一覧（まとめ表示） HDD 残量 15:08 GUIDE

ディスク すべて 新録画… 末 未視聴 新 おまかせ 関連番組 ドラマ(… 映画(す… 撮影ビデオ

末 新	3/ 1 (木)	地上D 004	現代ビジネス
末	3/ 2 (金)	地上D 102	アンティーク
まとめ	3/ 3 (土)	地上D 015	ザ・夕方ニュース
	3/ 4 (日)	地上D 004	エレキギター講座
	3/ 5 (月)	ドラマスペシャル	
10		地上D 101	開始時刻 14:00 録画時間 1:00

ページ 013/013

サブメニュー 再生 戻る ‖ シーン一覧 ⏮ 前ページ ⏭ 次ページ 青 複数選択 赤 ダビング 緑 番組編集 黄 番組消去

（➜57） （➜70） （➜63） （➜68）

表示変更ができるラベル
- お好みに合わせて表示するラベルを変更することができます。
（➜56「分類ラベル設定」）

選択中の番組

表示マークについては（➜146 ～ 149）

ページ数
- [⏮] [⏭] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押したままにすると、素早く切り換わります。

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示
（画像は電源「切」時に作成されます）
- 表示される画像を変更するには（➜65「サムネイル変更」）
- ディスクの場合、画像は表示されません。

まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される残量は、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。（➜155）
- 録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。
USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
HDD	**すべて**	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 **未視聴**	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	新 **おまかせ**	新番組おまかせ録画（➜41）で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。
	関連番組	関連番組まとめて予約（➜42）で録画された番組
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」（➜45、65）で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。（➜56「分類ラベル設定」）
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD）（➜75）

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、[サブメニュー] を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（➜54）を選んでから [**サブ メニュー**] を押してください。

❷ **項目を選び、[決定] を押す（➜ 右記へ）**

例）

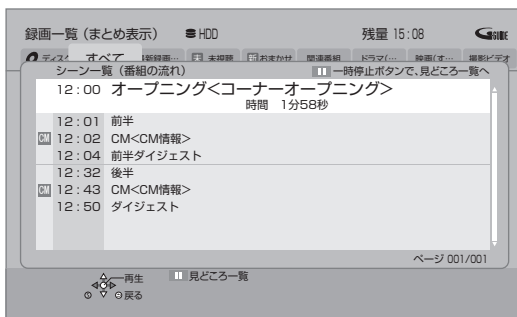
先頭から再生 HDD USB-HDD	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定 最新録画番組 マイラベル ジャンル 最新録画番組 未 未視聴 新 おまかせ 関連番組 決定 戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **(➜87)**
全番組表示へ **まとめ表示へ** HDD USB-HDD	表示を切り換えます。

見たいシーンから再生する（シーン一覧）

インターネットに接続すると、HDD に録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。ミモーラ（有料）に会員登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。
詳細はミモーラのホームページをご覧ください。
http://me-mora.jp/

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、[❚❚ 一時停止] を押す**

●シーン一覧が表示されます。

ミモーラ会員登録している場合：

❷ **見たいシーンを選び、[決定] を押す**

●選んだシーンから再生が始まります。

☞ 見どころ一覧を表示するには

上記手順 ❶ のあと、[❚❚ 一時停止] を押す

●見どころ一覧で、項目を選び、[決定] を押すと、その場面の再生が始まります。

お知らせ

●シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。（2012 年 9 月現在）
対応番組については、ミモーラのホームページ（➜ 上記）をご覧ください。

●以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
・編集した番組
・BD からダビングした番組
・シーン情報のない番組

●番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

[まとめ] 番組について

毎日・毎週予約や、関連番組まとめて予約をした番組は、録画一覧画面で [まとめ] 番組として表示されます。

[まとめ] 番組の再生 HDD USB-HDD

■番組を選んで再生する

❶ **[まとめ] 番組を選び、[決定] を押す**

❷ **再生する番組を選び、[決定] を押す**

■ [まとめ] 番組内の番組を連続して再生する（まとめ再生）

[まとめ] 番組を選び、[▶再生] を押す。

[まとめ] 番組の番組名について HDD USB-HDD

「まとめ表示」での番組名は、[まとめ] 番組内の最初の番組名が付きます。

☞「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい [まとめ] 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜63)

● [まとめ] 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

[まとめ] 番組の編集 HDD USB-HDD

❶ **番組を選び、[青] を押す**

● ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ **すべて選んだあと、[S サブメニュー] を押す**

❸ **項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）**

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、[まとめ] 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生／編集

再生中のいろいろな操作

停止

[■停止] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- HDD USB-HDD：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
  - ･記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ･BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[II 一時停止] を押す

- もう一度押す、または [▶ **再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

 または を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）

- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

  を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク（➜66）がある場合は、その場面に飛びます。
- HDD USB-HDD まとめ再生中（➜57）は、前後の番組も含めて飛び越します。

30 秒先へ飛び越す /10 秒前へ戻す

[30秒送り ∧ チャンネル] または   を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3 倍速）

[1.3倍速 ▶再生] を約1秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 [**1.3倍速/▶ 再生**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 「1080/60p」の表示がある番組、-RW（ファイナライズ後も含む）ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

 または [▶▶ 早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD では、送り方向のみ働きます。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

（左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD では、コマ戻しはできません。

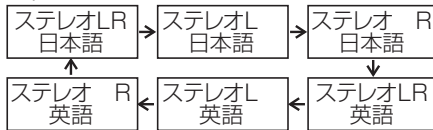
画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法（➜31）

音声の切り換え

音声 を押す

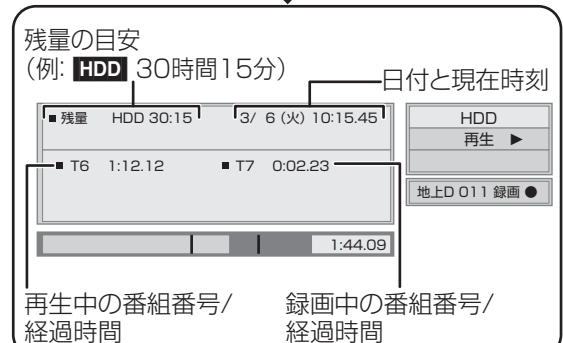
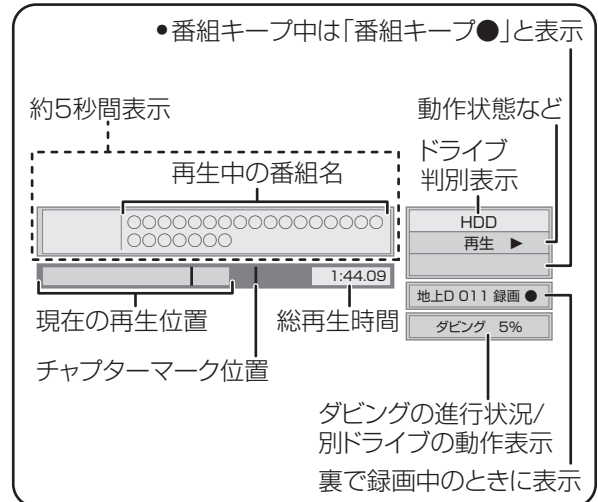
●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例） HDD

画面表示なし

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

●本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする（➜125、132）**
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜101）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

●SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜91、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

お知らせ

●インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）

●副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」**（➜102）**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

●「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**（➜61）**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に
再生設定 **を押す**

2 **メニューを選び、[▶] を押す**

例） BD-V

メニュー

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**

●ディスクにより設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ

●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

音声情報

音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換

音声などを切り換えます。

「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

[決定] を押して、さらに設定します。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕（入 / 切）
- ▶ 字幕言語（日本語 / 英語）

BD-V

- ▶ 主映像
  - ・映像情報 / 音声情報
- ▶ 副映像
  - ・映像情報（入 / 切）/ 音声情報（入 / 切）

アングル

アングルを選びます。

字幕情報

字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕位置 BD-V DVD-V

字幕の表示位置を変更します。

字幕スタイル

ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

信号切換や再生方法の設定などをする（続き）

再生

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組**　　　：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**　：BD-V DVD-V AVCHD タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**　　　：ディスク全体の全曲
- ▶ **1 曲**　　　：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）

●「入」にすると、順不同に再生します。

映像

画質選択

再生時の画質を選びます。

- ▶ **ノーマル**：標準
- ▶ **ソフト**　：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**　：映画鑑賞向け
- ▶ **アニメ**　：アニメ鑑賞向け
- ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整

　[▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す

　·**コントラスト**（白黒の強弱）
　·**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
　·**シャープネス**（鮮やかさ）
　·**カラー**（色の濃さ）
　·**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

アドバンスト設定

HD オプティマイザー

「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

超解像アップコンバート

HDMI 端子から 1080i で出力時、DVD 画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。「2」にすると、「1」よりさらに鮮明になります。

プログレッシブ

480pのプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p DVD-V

[「24p 出力」(➜104) が「入」の場合のみ]

「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。ディスクを取り出した場合、「切」に戻ります。

音声

音質効果

リ . マスター※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
（サンプリング周波数が 48 kHz 以下で記録された音声のみ）

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

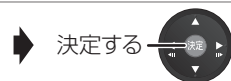
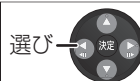
- ▶ **リ . マスター強**
- ▶ **リ . マスター標準**
- ▶ **ナイトサラウンド**
- ▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む 3 チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ HDMI 出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜102)（ただし 2 チャンネルの音声になります）

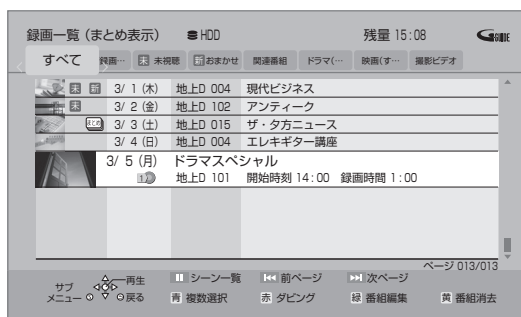
番組を編集する

HDD BD-RE BD-R USB-HDD

（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

1

を押す

2 番組を選び、緑 を押す

例）HDD

3 項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）

例）HDD

番組名編集

文字入力（➜87）

お知らせ

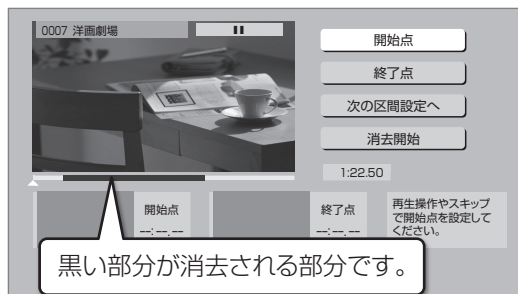
- 新 表示の番組は変更できません。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**

③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**

●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す **（➜手順 ② へ）**

・20区間まで設定できます。

・すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**

⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（**➜58**）を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

再生／編集

番組を編集する（続き）

番組結合

HDD USB-HDD

同じ素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

① 結合したい番組を選び、[決定] を押す

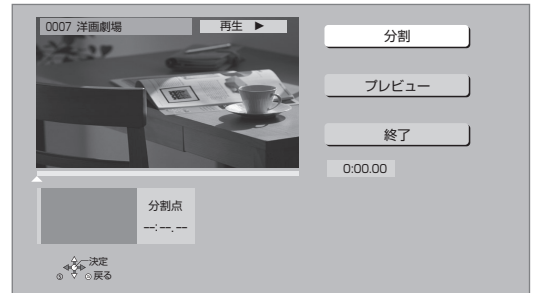
②「結合」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●結合した番組は以下のようになります。
・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
・番組名：最初に選択した番組名
・チャプターマーク：
結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます）
・番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。

●以下の番組は結合できません。
・録画時間の合計が 8 時間を超える場合
・デジタル放送の番組とそれ以外の番組

●他の機器で録画してダビングした番組や撮影ビデオは、記録されている画質によっては、結合できない場合があります。

番組分割

①「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す

●「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。

場面を選び直すには

①「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[決定] を押す

②「終了」を選び、[決定] を押す

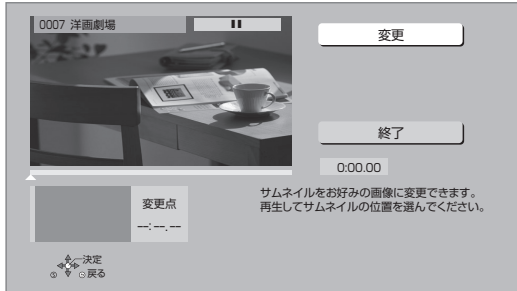
③「分割」を選び、[決定] を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

● BD-RE BD-R 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

サムネイル変更
HDD **USB-HDD**

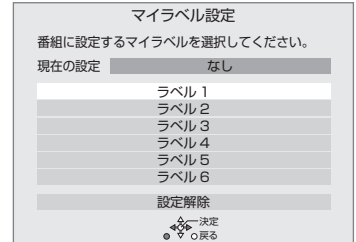
録画一覧で表示される画像（サムネイル）を変更します。

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**
② **「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す**

場面を選び直すには

① 「変更」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める
② お好みの場面で、**[決定]** を押す

③ **「終了」を選び、[決定] を押す**

マイラベル設定
HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① **ラベルを選び、[決定] を押す**
② **「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す**

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。
- マイラベル名は変更することができます。
(➜56「分類ラベル設定」)

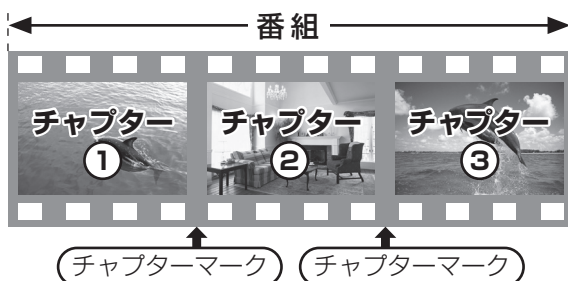
再生／編集

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**
① 早送りやスロー再生など（➜58）を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

チャプターの作成・再生・編集

HDD
BD-RE BD-R
USB-HDD
RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)（再生のみできます）

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜58）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」（➜101）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 録画する番組によっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

を押す

削除

一時停止中に

❶ **[スキップ] または [スキップ] を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ **黄 [チャプターマーク] を押す**

❸ **「はい」を選び、[決定] を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**
② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**
③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**
④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

お知らせ

- HDD USB-HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜58）や「サムネイル変更」（➜65）ができなくなります。

チャプターを再生・編集する

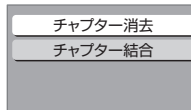
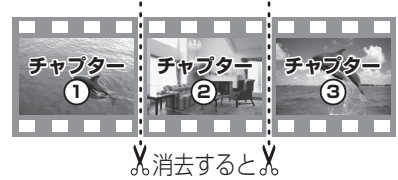
1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、** サブメニュー S **を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す**

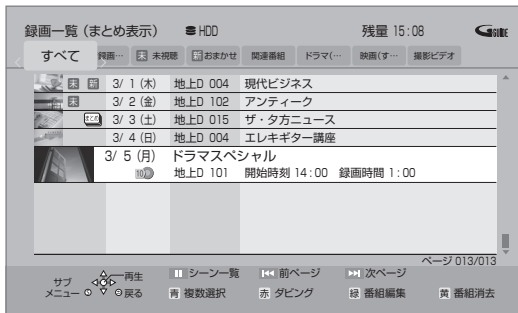
4 編集する：
チャプターを選び、 サブメニュー S **を押す**
(➜ 手順５へ)

再生する：
チャプターを選び、決定 を押す

5 **編集する項目を選び、決定 を押す**
(➜ 右記へ)

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません) 消去すると 番組が部分消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R USB-HDD

1 **を押す**

2 番組を選び、[黄] を押す

● [まとめ] 番組内の番組を消去する場合、[黄] を押す前に、[決定] を押して、[まとめ] 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

● [まとめ] 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、[まとめ] 番組は解除されます。（残った番組は録画した日付で表示されるようになります）

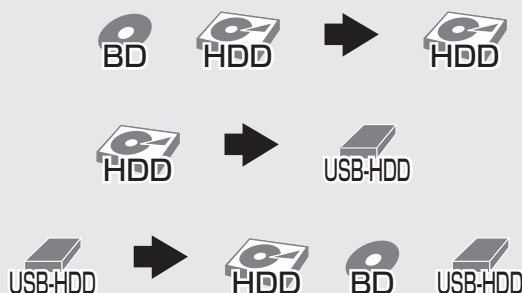
● 消去後のディスク残量について

・HDD BD-RE USB-HDD
消去すると、消去した分、残量が増えます。

・BD-R 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を選んでください。

●難しい設定はせずに番組をダビングしたい
…**かんたんダビング（➜70）**
●お好みの設定でダビングしたい
…**詳細ダビング（➜72）**
●再生中の番組をダビングしたい
…**再生中番組の保存（➜74）**

詳細ダビング（➜72）

HDD と USB-HDD 間のダビングについて

●ダビング元の番組は消去されます。
●ダビングの残り回数は減りません。
●以下の番組は USB-HDD へダビングできません。
・撮影ビデオ（AVCHD）

お知らせ

●ディスクから HDD に標準画質（当社製ブルーレイディスクレコーダーの XP、SP、LP、EP、FR モードに相当）で記録された番組は、ダビングできません。

ディスクから HDD へのデジタル放送のダビングについて（ムーブバック）

●BD からは移動になります。

移動のみ可能
（ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません）
●以下の番組は移動できません。
・ディスク内で番組分割した番組
・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
・BD-R ファイナライズしたディスク

ダビング中の同時操作について（➜110）
ダビングしたディスクを他の機器で再生するには（➜21）

再生／編集
ダビング

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➜ BD-RE BD-R

HDD にある番組をディスクにダビングします。

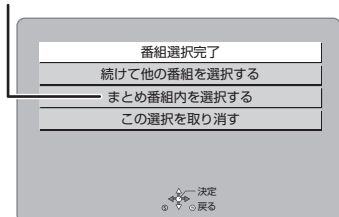
1 ディスクを入れる

2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

3 番組を選び、決定 を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。（選んだ番組には ☑ が表示されます。もう一度 [青] を押すと選択を取り消します。）

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。（➜ 手順 3 へ）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- オプション設定について（➜71）

6 「はい」を選び、決定 を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

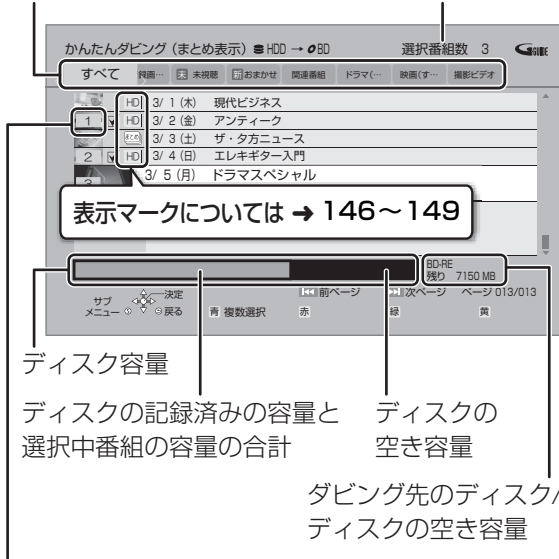
- 中止時の動作（➜74）

ダビングの進行状況を表示するには

[表示] を押す

お知らせ

- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定（➜63）されている 1 の番組はダビングできません。
- まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。

かんたんダビングの画面の見方

選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順に
ダビングされます。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（➜70 手順 3）で

❶ **番組を選び、サブメニュー S を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

ダビング

詳細ダビング

ダビング方向：

- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R USB-HDD
- BD-RE BD-R ➡ HDD
- USB-HDD ➡ HDD BD-RE BD-R USB-HDD

●新品のディスクにダビングするには、フォーマットをしてください。(➜91)

1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

●「ダビング方向」「リスト作成」の項目を設定してください。

●「ダビングモード」は「高速」で固定されます。

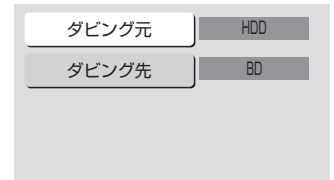
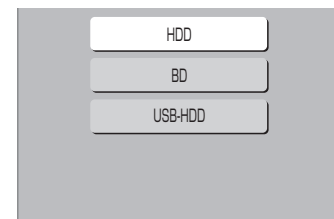
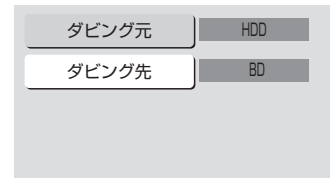
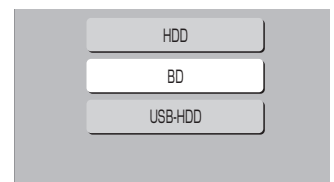
5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源［切］」を選び、決定 を押す

ダビングを実行中に中止するには

［戻る］を 3 秒以上押す

●中止時の動作（➜74）

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

❺ [◀] を押す（➜ 左記手順 5 へ）

お知らせ

- HDD USB-HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）
  - ･コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります）
  - ･ 1 表示のある番組の複製はできません。
- DVD からはダビングできません。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、[決定]を押す

ダビング先空き容量 23315 MB
ダビングリスト容量 0 MB （ 0%）

No.	容量	タイトル
	新規登録	（登録数=0）

❷ 番組を選び、[青]を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ 選び終わったあと、[決定]を押す

❹ [◀] を押す（➜72 手順 5 へ）

お知らせ

- USB-HDD には「AVCHD」の表示がある番組はダビングできません。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  - ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面（➜ 左記「リスト作成」手順 ❷）で

❶ 番組を選び、[サブメニュー S]を押す

❷ 項目を選び、[決定]を押す（➜ 下記へ）

項目	説明
内容確認※	番組の内容が確認できます。
並び替え※ HDD USB-HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜ 左記「リスト作成」手順 ❶）で

- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  - ・リスト全消去
  - ・追加
  - ・消去
  - ・移動

番組をダビングする（続き）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1 番組のみダビング）

●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R

●新品のディスクにダビングするには、フォーマットをしてください。（➜91）

1 ダビングしたい番組を再生する

2 サブメニュー S を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

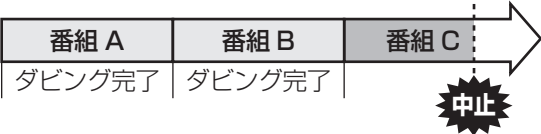
[戻る] を 3 秒以上押す

●中止時の動作（➜ 右記）

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。

BD-R 番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

チャプターマークの保持について

最大チャプターマーク数（➜155）を超えると、超えた分は保持されません。

ビデオカメラからダビングする

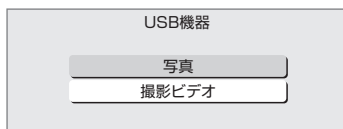
基本操作 選び 決定する

撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

USB 機器を接続する（➜113）またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）USB

●USB 機器側で本機と接続するための設定をしてください。詳しくは、USB 機器の説明書に従って行ってください。

USB 機器または SD カードの場合：

●かんたん差分取り込み：右記の手順 4 へ

●選んで取り込み：76 ページの手順 4 へ

ディスクの場合：

●76 ページの手順 5 へ

かんたん差分取り込み

USB　SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD ➜ HDD

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順 6 へ

5 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

6 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

●取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。

●取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜101）や「全番組消去」（➜101）を行うと、削除されます。

●同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜76）を行ってください。

●以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。

・ビデオカメラなどで編集

・取り込みを中断

ダビング　他の機器と

ビデオカメラからダビングする（続き）

選んで取り込み
USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：
- USB SD ➡ HDD BD-RE BD-R
- AVCHD を記録したディスク ➡ HDD

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順 5 へ）

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す
USB 手順 6 へ

5 「撮影ビデオを取り込む」または「撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む」を選び、決定 を押す
ディスクから取り込む場合（➜ 手順 7 へ）

6 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す
- USB SD「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押してください。

7 タイトルを選び、青 を押す
- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

8 選び終わったあと、決定 を押す

9 「取り込み開始」を選び、決定 を押す
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

お知らせ
- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

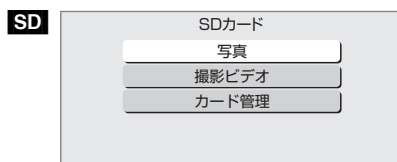
取り込んだ動画の録画一覧での表示
HDD の録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。
- AVCHD　：「AVCHD」
- 1080/60p の番組　：「AVCHD PRO」

写真を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➜113）すると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

「写真」を選び、[決定]を押す
- 下記の手順5に進みます。

1 スタート **を押す**

HDD 手順5へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SDカード」を選び、決定 を押す

USB
「USB機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント（日付またはフォルダ）を選び、決定 を押す

例）HDD
ラベル
- の付いたラベル：アルバム
イベントをお好みでアルバムに入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。（➜79）

イベント
- HDDに取り込まれた写真（➜80）は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

7 写真を選び、決定 を押す

再生を止めるには
[■ 停止]を押す

前後の写真を見るには
[◀][▶]を押す

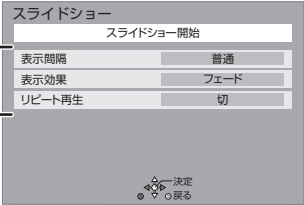
写真の情報を表示するには
[表示]を押す

スライドショーを見るには
[▶ 再生]を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー S **を押す**

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

2 項目を選び、決定 **を押す**

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す** 例） 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(**➜ 下記**) **スライドショーを終了するには** [**戻る**] を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」が選べます。 **リピート再生** 再生を繰り返します。
カレンダー **HDD**	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。(**➜31**)
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90° 回転 **左90° 回転**	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。

写真の整理をする

HDD BD-RE SD

1 スタート **を押す**

HDD 手順５へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 BD-RE

「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント単位で管理する場合：

イベントを選び、サブメニュー S を押す（➜ 手順８へ）

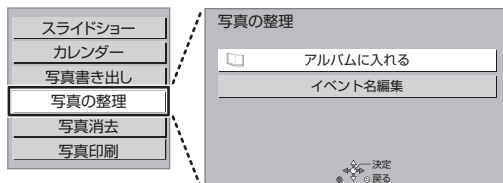
写真単位で管理する場合：

イベントを選び、決定 を押す

●「イベントをまとめる」ときは、[青] を押してイベントを選択したあと、[サブ メニュー] を押してください。

7 写真を選び、サブメニュー S を押す

8 項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

例）HDD「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、[決定] を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 **文字入力については（➜87）**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した 2 つ以上のイベントを、1 つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、[決定] を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 **文字入力については（➜87）**
写真消去 HDD ●「すべて」表示時のみ BD-RE SD	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

●HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜101）を行ってください。

写真／音楽

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW ➜ **HDD**

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

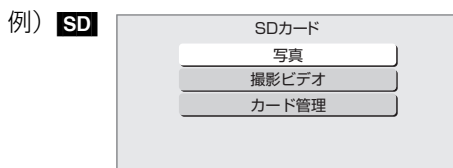
ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜113）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録されている内容によって異なります）

例）

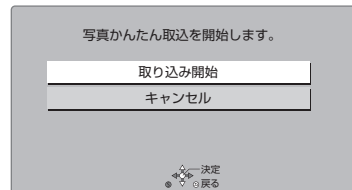
●下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を取り込む」を選び、決定 を押す

6 「取り込み開始」を選び、 **を押す**

7 取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、決定 を押す

お知らせ
- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜101）や「全写真消去」（➜101）を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜81）を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
- イベント名は取り込まれません。

写真一覧から取り込む

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベントまたは写真を選び、青 を押す

- 選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）SD

7 選び終わったあと、赤 を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す

9 「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、決定 を押す

- 「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

10 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE SD
BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD
SD USB ➡ BD-RE

77 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 イベントまたは写真を選び、青 を押す

- 選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）HDD

7 選び終わったあと、赤 を押す

8 ディスクに書き出す場合：
「ブルーレイ（BD）へ書き出す」を選び、決定 を押す
SD に書き出す場合：
「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

9 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

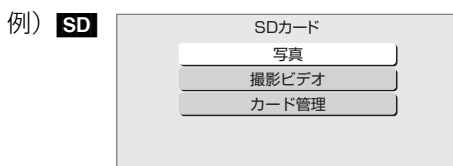
写真を印刷する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

ネットワークに接続されたネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したプリンターから写真を印刷することができます。

- ネットワーク接続と設定をする
（➜125 〜 128、132）
- プリンター設定をする（➜105）

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜113）すると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

下記の手順 4 に進みます。

1 スタート を押す

HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 ディスクから印刷する場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD から印刷する場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から印刷する場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

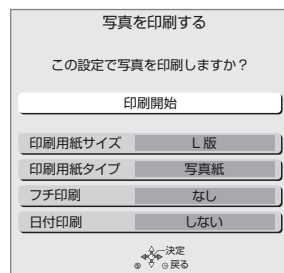
4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベントまたは写真を選び、サブメニュー S を押す

- 複数のイベントまたは写真を印刷するときは、[青] を押して選んだあと、[サブ メニュー] を押してください。

7 「写真印刷」を選び、決定 を押す

8 印刷の設定をする

9 「印刷開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 予約録画が始まると、印刷は中止されます。ただし、印刷途中の写真がある場合は、その写真の印刷を終了してから予約録画を始めます。

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を入れる

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、**[決定]** を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。

・「再生」（➜62）の「リピート」「ランダム」

・「音声」（➜62）

スクリーンセーバー設定

音楽再生中に写真を表示することができます。

スクリーンセーバーを表示するには

[青] を押す

スクリーンセーバーを停止するには

[戻る] を押す

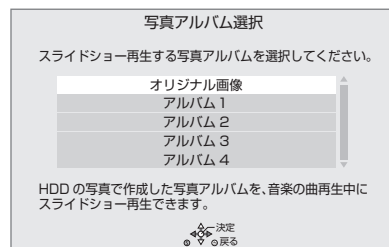
（音楽の再生を停止したときも、停止します）

表示させる写真を選択するには

あらかじめ HDD に内蔵されているオリジナル画像または「アルバムに入れる」（➜79）で登録したアルバムを選ぶことができます。

① **スクリーンセーバー表示中に、[サブ メニュー] を押す**

② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**

③ **オリジナル画像またはアルバムを選び、[決定] を押す**

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※　すべての操作ができるものではありません。

■設定

① **「ビエラリンク制御」（➜103）を「入」にする**
（お買い上げ時の設定は「入」）

② **「ビエラリンク録画待機」（➜103）を「入」にする**
●「クイックスタート」（➜100）は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作を素早く行えます。（待機時消費電力は増えます）

③ **接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク（HDMI）が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

ビエラリンク（HDMI）対応機器の確認

機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマーク（➜ 下記）が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

テレビ（ビエラ）側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■録画先

●録画（「見ている番組を録画」など）/
録画予約 / 番組キープ：
・HDD に録画

■録画予約の登録の確認

●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先（ディーガなど）が正しいか確認してください。

■録画予約の取り消し

●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■録画ができない場合

●本機に契約された miniB-CAS カードが挿入されていないとき。

お知らせ

●ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
●ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
●本機はビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2011 年 11 月現在）
●「ビエラリンク録画待機」（➜103）が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

（本機のリモコン）: 本機のリモコンで操作できます。
（テレビのリモコン）: テレビのリモコンで操作できます。
Ver.○以降 :接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

（本機のリモコン） Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

電源オフ連動

（本機のリモコン）（テレビのリモコン） Ver.1以降

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

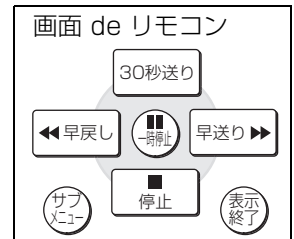
お知らせ

●ダビング、ファイナライズ、消去、[**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

（テレビのリモコン） Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●**[サブ メニュー]** を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。
停止中は、ドライブ切換などの操作をすることができます。

●ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

（本機のリモコン）（テレビのリモコン） Ver.2以降

ビエラリンク（HDMI）対応のテレビ（ビエラ）とアンプを接続し、ビエラリンク（HDMI）を使っている場合、連動操作をするためテレビ（ビエラ）の電源を切ると本機の電源も切れます。
ただし、接続したテレビ（ビエラ）がビエラリンク（HDMI）Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

❶ **音楽再生中に、** **を押す**

❷ **「TV のみ電源 OFF」を選び、（決定）を押す**

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

便利機能

ビエラリンク（HDMI）を使う（続き）

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。
●他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには
●「オートサウンド連携」（➜103）を「入」にする

番組キープ

(テレビのリモコン) Ver.3以降

視聴中の番組をHDDに一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
（番組キープ終了後は削除されます）

「番組キープ ●」が表示

お知らせ

●チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
●以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
・予約録画開始時刻になったとき
・番組キープが8時間を超えたとき、またはHDDの容量がなくなったとき
●本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。

ECOスタンバイ

(テレビのリモコン) Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

設定を有効にするには
●「ECOスタンバイ」（➜103）を「入」にする

文字入力

基本操作　選び　決定　➡　決定する　決定

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

この画面が表示されたら

番組名
ディスク名
アルバム名
イベント名
マイラベル名
フリーワード検索
など

文字パネル方式で入力します

この表示が出たときは

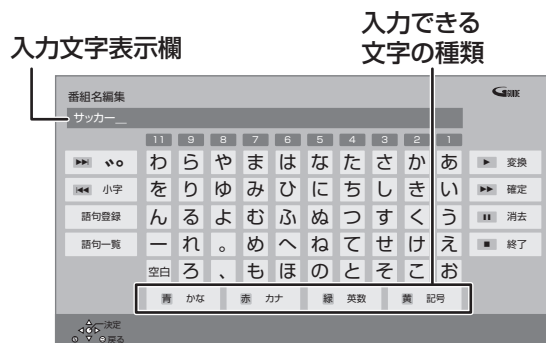
データ放送 など

携帯電話（リモコン）方式で入力します

文字パネル方式で文字入力する

（番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき）

入力文字表示欄

入力できる文字の種類

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 **入力する文字を選び、決定 を押す**

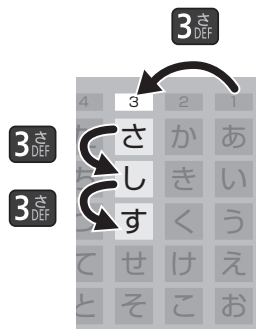
- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。（➜ 右記）

3 **入力が終わったら、■停止 を押す**

4 **「はい」を選び、決定 を押す**

数字ボタン [1] ～ [9]、[11] でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**
- 「さ」行に移動します。

② **[3] を 2 回押し、[決定] を押す**
- 「す」が入力文字表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す

- [戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
② 語句を選び、[黄] を押す
③ 「消去」を選び、[決定] を押す

文字入力（続き）

リモコンボタン方式で文字入力する
（データ放送などで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

 ▶

4回押す（え） 1回押す 2回押す（い） 1回押す（か） 1回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。（➜89）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 **を押す**

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画

カーソル

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑]を押すごとに、（かな→カナ→英数→数字）に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例）「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合 :

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する
② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
（カーソルの文字が削除されます）

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

ボタン／入力モード	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	？	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	！	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	（	スペース	
	ぃ			4				8		）		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	？	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	！	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	（	スペース	
	ィ			4				8		）		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	ー	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。
- 入力可能な文字は画面によって異なる場合があります。

便利機能

自宅にあるパソコンで操作する

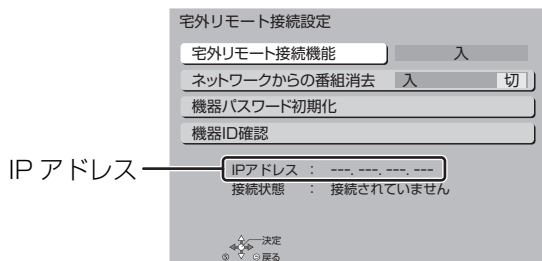
本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。

●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは（➜108）

●ネットワーク接続と設定、宅外リモート接続設定をする（➜108、125 ～ 128、132）

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトを起動させ、本機の IP アドレス（➜108、手順 6 で確認）をアドレス欄に入力する

●ログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されないときは（Internet Explorer® 8.0 の場合）
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。

●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去

●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。（➜105）

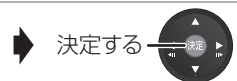
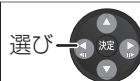
●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。

レコーダー操作　本機の録画、電源入/切など

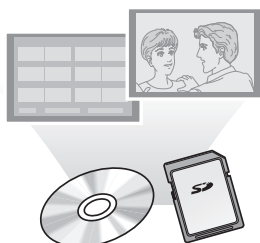
ヘルプ　操作方法などの説明

ログアウト　操作の終了

機器パスワードとは
インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の機器で使っていたディスクやカード

そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマットすると

本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

BD-RE BD-R SD

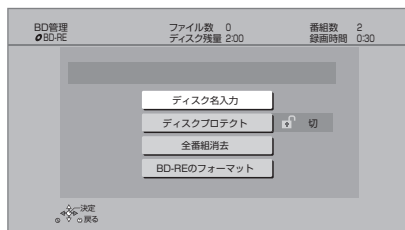
1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例）BD-RE

6 画面の指示に従って、フォーマットする

お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」（➜101）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去 / ファイナライズ

BD-RE BD-R

（ファイナライズしたディスクではできません）

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」を選び、決定 を押す

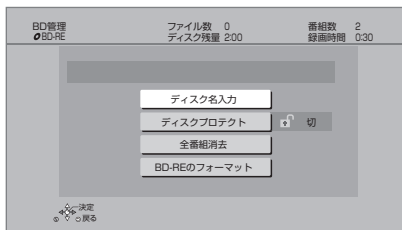
5 操作したい項目を選んで、決定 を押す

（➜ 下記へ）

例）BD-RE

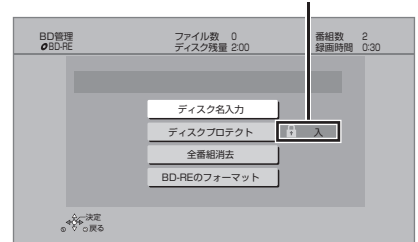
ディスク名入力

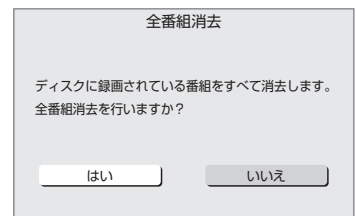
☞ 文字入力については（➜87）

入力したディスク名は、「BD 管理」画面に表示されます。

ディスクプロテクト

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❻ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

プロテクト設定すると「🔒 入」が表示

全番組消去

例）BD-RE

❻ 「はい」を選び、決定 を押す

❼ 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- BD-RE 写真は消去されません。
- BD-R 消去しても残量は増えません。

他の BD 機器再生（ファイナライズ）

BD-R

❻ 「はい」を選び、決定 を押す

❼ 「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

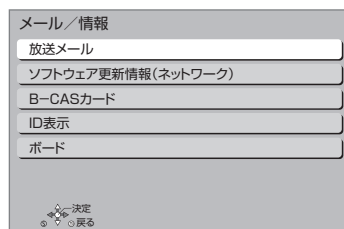
1 スタート を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「設定する・その他の機能」を選び、決定 を押す

4 「メール / 情報・診断コード」を選び、決定 を押す
（診断コードを見る場合 ➜136 手順⑤へ）

5 「メール / 情報」を選び、決定 を押す

6 項目を選び、決定 を押す

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、決定 を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日時を確認できます。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、miniB-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

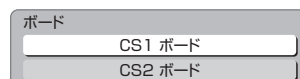
本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、決定 を押す

❷ 確認したい情報を選び、 を押す

必要なとき

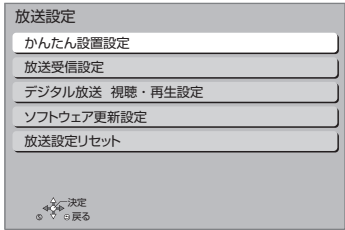
放送設定を変える（放送設定）

1 スタート を押す

2 「設定する」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 メニューを選び、決定 を押す

5 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定（➜130）

放送受信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

●地上デジタルは設定できません。

BS/CS 【使う】

チャンネル設定（➜98）

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」（➜130）を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】

「入」に設定すると、1ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「入」にすると、常時接続状態になります。

●1ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2012年9月現在、インターネットから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

●お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定（➜96）

地上デジタル

アッテネーター 【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル（➜96）を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源 【入】

アンテナ出力 【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

（放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください）

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、miniB-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

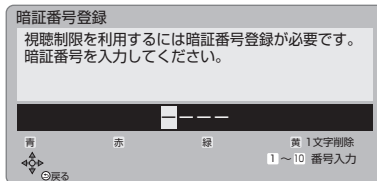
デジタル放送 視聴・再生設定

【 】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。

字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定

画面の指示に従って[1]～[10]を押し､暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと､元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後､下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢 【無制限】

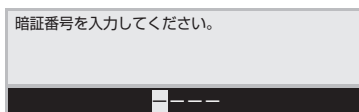
- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限 【しない】

ブラウザを利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

【すべて】

デジタル放送で[**チャンネル∧,∨**]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより､本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。(➜109)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(➜93「放送メール」)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(➜94) をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは､この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(➜101) や「USB-HDDのフォーマット」(➜101) を行ってください。

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、[サブ メニュー] を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 スタート を押す

2 「設定する」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

5 「受信アンテナ設定」を選び、決定 を押す

6 修正したい放送を選び、決定 を押す
（➜ 右記または 97 ページへ）

地上デジタル

左記手順 1 ～ 6 のあと

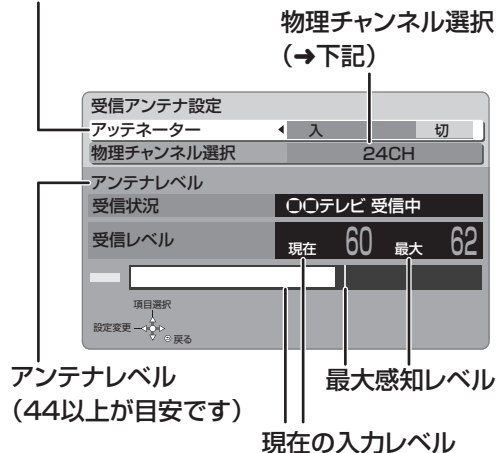
7 **入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する**

アッテネーター
- アンテナレベルが大きくなる方を選択してください。

物理チャンネル選択
（➜下記）

アンテナレベル
（44以上が目安です）

最大感知レベル

現在の入力レベル

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」（➜130）をやり直してください。
  ・アッテネーターを切り換える
  ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す
  状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

96 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

8 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力
- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS･110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。

アンテナレベル（50以上が目安です）
最大感知レベル
現在の入力レベル

「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

必要なとき

放送設定を変える（放送設定）（続き）

受信チャンネルを修正する

1 スタート **を押す**

2 「設定する」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

5 「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

6 修正したい放送を選び、決定 を押す
（BS、CS1、CS2 の場合 ➜99 ページへ）

7 （地上デジタルのみ）
修正する方法を選び、決定 を押す
（➜ 右記または 99 ページへ）

地上デジタル　初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ～ 7 のあと

8 お住まいの地域を選び、決定 を押す

9 受信帯域を選び、決定 を押す

10 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る **を押す**

地上デジタル　再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 7 のあと

8 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る **を押す**

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面に表示される番号です。
「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

98 ページ手順 1 ～ 7 のあと

8 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

9 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

10 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面に表示される番号です。
「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

98 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

8 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

お知らせ

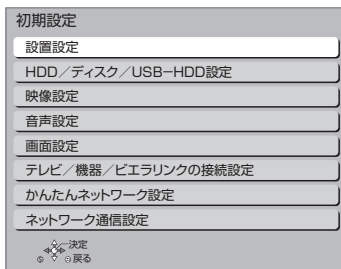
● 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。
① http://panasonic.jp/support/bd/manual/ を開く
②「同意する」→「DMR-BR130」→「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

本機の設定を変える（初期設定）

1 スタート を押す

2「設定する」を選び、決定 を押す

3「初期設定」を選び、決定 を押す

4 メニューを選び、決定 を押す

5 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕 【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜106） 【リモコン 1】

時刻合わせ

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。

クイックスタート 【切】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。（テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります）

●待機時消費電力は増えます。

●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に1 〜 3 回程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体の電源ランプが赤に点滅し、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）

●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。

・「ビエラリンク録画待機」（➜103）：「入」

・「宅外リモート接続機能」（➜105）：「入」

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

・時刻

・DVD-Video の視聴制限

・BD-Video の視聴可能年齢

・USB-HDD の登録

・かんたんネットワーク設定

・IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン１）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体の“お知らせ”ランプが 6 回点滅）、リモコンモードを変更してください。（➜135）

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。

・本機の電源を切る

・電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新 【切】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。

（更新は電源「切」時に行います）

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。

制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。

年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで［決定］を押すと、［1］～［10］で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

音声言語※2 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組によっては、正しく作成されない場合があります。

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録（➜115）

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し（➜114）

別売のUSB-HDDを本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

USB-HDD のフォーマット

別売の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し（➜115）

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

※1　暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って［1］～［10］で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※2　「その他＊＊＊＊」の場合、＊には［1］～［10］で言語番号（➜109）を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード 【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。
- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生 【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。
- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター 【切】

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、
Dolby® TrueHD に有効
- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD 【Bitstream】
DTS/DTS-HD 【Bitstream】
AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。
- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）

【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
- 「デジタル出力」（➜上記）が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ･チャンネル･サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - ･ AVCHD 再生時
  - ･ BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

音声ディレイ 【0 ms】

映像と音声のズレを､音声出力を遅らせて調整します。

画面設定
【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [HDMI端子と接続して、「HDMI出力解像度」(➜104)が「480p」以外のとき]

電源（赤）ランプ表示 【入】

電源「切」時に、本体の電源ランプの点灯・消灯の設定をします。

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定
【 】はお買い上げ時の設定です

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御 【入】

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機 【切】

ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜100) は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携 【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ 【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作します。
  ・「電源（赤）ランプ表示」(➜ 左記)：「切」
  ・「クイックスタート」(➜100)：「切」
  ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

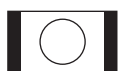
TV アスペクト 【16:9】

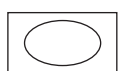
接続したテレビに合わせて設定します。

4：3　：4：3 標準テレビに接続しているとき

4：3 の映像は、そのまま表示

16：9　：ワイドテレビに接続しているとき

4：3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16：9 フル：ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4：3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

HDMI 接続

HDMI 出力解像度　【オート】
接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① ［決定］と［青］と［黄］を同時に 5 秒以上押す
　・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② ［▶］を数回押して、本体の“SD”ランプを点滅させる
③ ［決定］を 3 秒以上押す
　・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。
　・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力　【切】
［「HDMI 出力解像度」(➜上記) が「オート」または「1080i」のときに有効です］

BD-V 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

●24 p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されません。
●24p 以外の素材は BD-V の場合 60i で出力されます。

DVD-V を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「24p」(➜62) を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ　【スタンダード】
RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

HDMI 音声出力　【入】

Deep Color 出力　【オート】
Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V　【オート】
接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ　【オート】
接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

TV アスペクト（4:3）の設定
4：3テレビに接続時、16：9映像の映し方を選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像　【パン & スキャン】
パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像　【レターボックス】
「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

●本機で録画した番組や他機器でDR、1.5～15倍録モードで録画した番組は、レターボックスで再生します。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜132）

ネットワーク通信設定 【 】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」（**➜ 上記**）を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」（**➜上記**）を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」（**➜左記**）を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

宅外からの操作設定

宅外リモート接続設定（➜108）

宅外リモート接続機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」（**➜100**）は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

ネットワークプリンターの接続設定

プリンターはネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したものをご使用ください。

プリンター検索

- プリンター検索が正常に終了した場合、プリンター名を表示します。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、背面の LAN 端子に割り当てられた番号です。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 スタート を押す

2 「設定する」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「設置設定」を選び、決定 を押す

5 「リモコンモード」を選び、決定 を押す

6 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、決定 を押す

リモコン側のモードを設定する

7 1 ～ 6 のいずれかを押しながら、決定 を 3 秒以上押したままにする

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。
1. リモコンの数字ボタン「○」と
決定ボタンを同時に3秒間
押し続けてください。
リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、
画面表示が切り換わるまで
決定ボタンを押し続けてください。
（約3秒）

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

8 リモコンを本体に向けて、決定 を 3 秒以上押す

●本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

9 決定 を押す

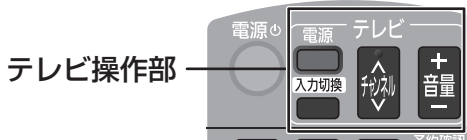
リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

●リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。

戻る

[戻る] を押しながら、[1] ～ [10] を使って、2 桁のメーカー番号（➜ 下記）を入力する

例）01 の場合…[10] → [1] 10 の場合…[1] → [10]
　11 の場合…[1] → [1]　12 の場合…[1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01, 10, 22, 23, 24
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
シャープ	02, 11, 21
ソニー	03, 17
東芝	04
パイオニア	13
ビクター	14
日立	05, 20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08, 12, 25

お知らせ

- 当社製テレビの場合、「24」に設定すると、テレビ操作部の **[入力切換]** で、入力に加え、テレビの放送も切り換えることができるときがあります。切り換えることができないときは「24」以外に設定してください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- [1]～[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の **[チャンネル ∧,∨]** をお使いください。
- テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモコンでは操作できません。

携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社　テレビ番組情報ウェブサービス
ディモーラ：http://dimora.jp/
ミモーラ：http://me-mora.jp/
株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド
PC の場合　http://ipg.jp/ra
携帯電話の場合　http://ipg.jp/k

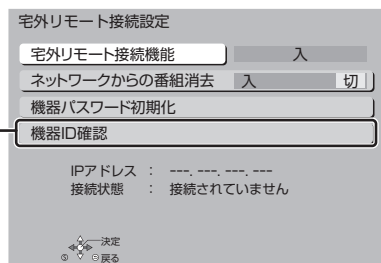
1 スタート を押す

2 「設定する」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

5 「宅外リモート接続設定」を選び、決定 を押す

6 「宅外リモート接続機能」を選び、決定 を押す

機器 ID：
宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

7 「入」を選び、決定 を押す

「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続（➔125 ～ 128）、「IPアドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」（➔105）を確認してください。

機器パスワードを初期化するには
① 手順 5 のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す
②「する」を選び、[決定] を押す

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

●お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➔95「ソフトウェア更新設定」)**

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。
[➔100「ソフトウェア更新（ネットワーク）」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、
本体の“DL”ランプが点灯しています。“DL”ランプが消灯するまで本機を操作できません

お知らせ

●ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**

●オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。**(➔101)**

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

（○：できる　×：できない）

録画状態		再生				HDDの編集[※1]	ダビング
放送 / 入力	録画先	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		
地上D BS CS	HDD	○	○	○	○	○	×
	BD	○	×	×[※2]	×	○	×
	USB-HDD	○	○	○	○	○	×

※１　実行できる編集（➜63 ～ 68）
※２　SD カードの AVCHD は再生できます

ダビング中の同時動作

（○：できる　×：できない）

ダビングの種類	視聴	予約録画の実行	再生					HDDの編集[※3]
	放送中の番組		HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ	USB-HDD	
ダビング中	○	○	○	×[※4]	×[※4]	×[※4]	×[※4]	○
AVCHD取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×

※３　実行できる編集（➜63 ～ 68）
※４　HDD 番組を複製中は、再生できます。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

ディスク	内容	
BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む） **写真が記録された CD-R や CD-RW（JPEG フォーマット記録ディスク）**	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	**他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク** ●編集や追記はできません。再生やハイビジョン動画（AVCHD）· 写真の HDD への取り込みのみ可能です。	
+R +R DL（片面２層） +RW	**他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク** ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生やハイビジョン動画（AVCHD）· 写真の HDD への取り込みのみ可能です。	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）　●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD　●ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
●Photo-CD　●パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**（➜91）**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画（AVCHD）の取り込み**（➜75、76）**や再生**（➜53）**
- 写真の再生**（➜77）**や取り込み**（➜80）**

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製の以下のUSB機器と接続することができます。
●デジタルハイビジョンビデオカメラ
●デジタルカメラ

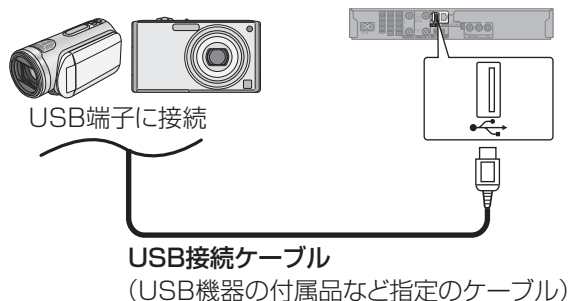
動作確認済みの機器については、当社ホームページ（➔3）をご覧ください。

●上記以外のUSB機器（USBメモリー、USBリーダー＆ライター、USB電源を利用する機器など）については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
●USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
●接続に使うUSBケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
●動画（AVCHD）の取り込み（➔75、76）
●写真の再生（➔77）や取り込み（➔80）

USB 機器を接続する

USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）
●接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体の“SD”ランプ点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

別売の USB ハードディスク（USB-HDD）について

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

●USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、以下の推奨 USB-HDD をご使用ください。（2012 年 9 月現在）

●当社製：DY-HD500

●他社製：下記のマークが付いたもの

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/bd/

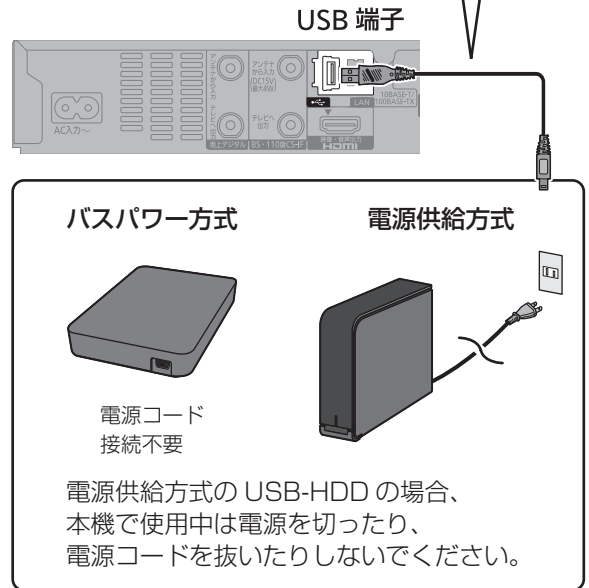
●本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」(➜115)を行う必要があります。

●USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

USB 接続ケーブル

接続に使用する USB ケーブルは、USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

・USB ハブを使用して、接続しないでください。

取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

❶ スタート を押す

❷「設定する」を選び、決定 を押す

❸「初期設定」を選び、決定 を押す

❹「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

❺「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

❻「USB-HDD の取り外し」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

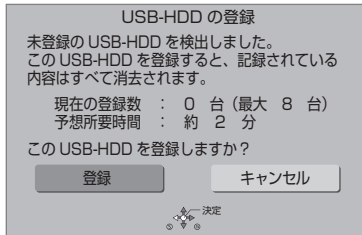
❽ USB-HDD を取り外す

登録する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。
登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 7 に進んでください。

例）

USB-HDD の登録
未登録の USB-HDD を検出しました。
この USB-HDD を登録すると、記録されている内容はすべて消去されます。
現在の登録数 : 0 台（最大 8 台）
予想所要時間 : 約 2 分
この USB-HDD を登録しますか？
登録　キャンセル
決定

1 スタート **を押す**

2 **「設定する」を選び、決定 を押す**

3 **「初期設定」を選び、決定 を押す**

4 **「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す**

5 **「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す**

6 **「USB-HDD の登録」を選び、決定 を押す**

7 **「登録」を選び、決定 を押す**

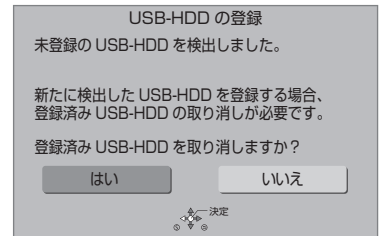
8 **決定 を押す**

お知らせ

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが512 B以外のUSB-HDDは使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。
9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例）

❶ **「はい」を選び、決定 を押す**
❷ **取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、決定 を押す**
❸ **「実行」を選び、決定 を押す**
❹ **「登録」を選び、決定 を押す**
❺ **決定 を押す**

すべての USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。
USB-HDD や本体を廃棄や譲渡する場合などに行ってください。
「USB-HDD の取り外し」(➔114) を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ～ 5 のあと

❻ **「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、決定 を 3 秒以上押す**
❼ **「はい」を選び、決定 を押す**
❽ **「実行」を選び、決定 を押す**
❾ **決定 を押す**

お知らせ

- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

必要なとき

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画･編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体の電源ランプの点滅が終了するまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は､「個人情報リセット」（➜95）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD をお使いになっていた場合､本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。

再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

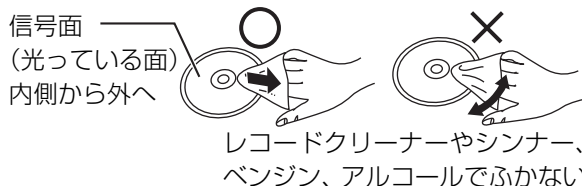
- **HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

ディスク、カード

持ち方

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売）のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

詳しい接続と設定

119 ページ

接続の前に

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
（本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください）
- 各機器の説明書もご覧ください。

130 ページ

設定終了後に

「かんたん設置設定」「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、指定の設定を行ってください。

放送が受信できない/映りが悪い

アンテナの入力レベルが正常か確認する場合	▶ **「受信アンテナ設定」を確認（➜96）**
地上デジタル放送の映像が不安定になる場合	▶ **「アッテネーター」を切り換える（➜96）**

リモコンを使うと他機器が同時に動作する

複数の当社製機器を使う場合	▶ **「リモコンモード」（➜106）**

つなぎ方ナビゲーション

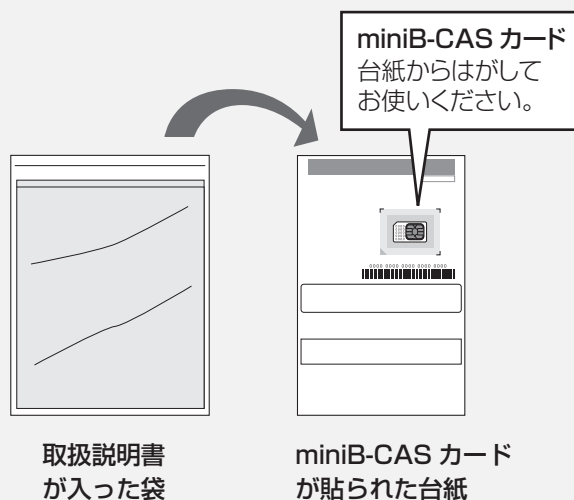
接続方法をわかりやすく説明しています。

接続1 miniB-CAS（ミニビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのminiB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

●miniB-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

取扱説明書が入った袋　　miniB-CAS カードが貼られた台紙

●miniB-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（➔162）などに控えておいてください。

●本機でも番号を確認できます。（➔93）

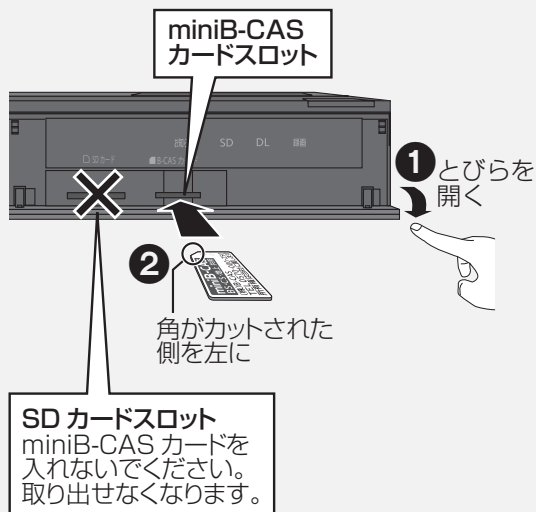
お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナル

アクセスシステムズ・カスタマーセンター

TEL：0570-000-250

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、miniB-CAS カードを奥まで差し込む

お知らせ

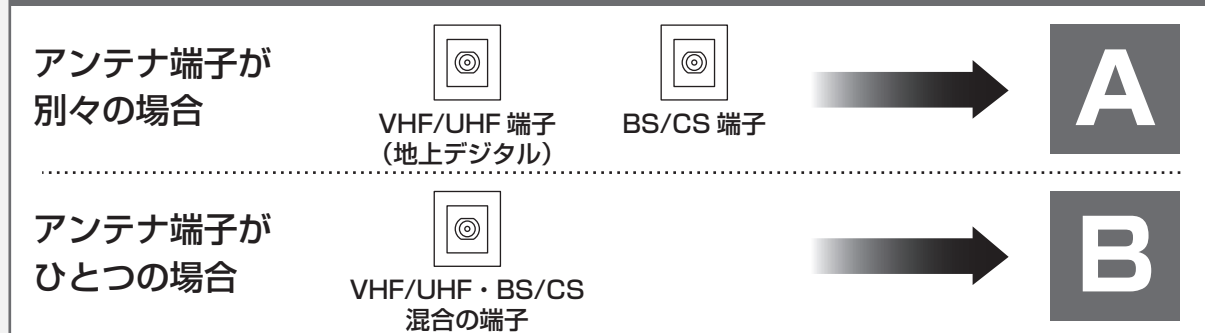
●カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。

●miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

●miniB-CAS カードは小さいものです。紛失しないようにお気をつけください。

接続2 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。
  電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

上記の接続では、テレビと本機の接続は、HDMI ケーブル（別売）を使用した接続を紹介しています。
HDMI ケーブルで接続すると、高画質・高音質の映像と音声で楽しむことができます。さらに、ビエラリンク（HDMI）(➜84) に対応した当社製テレビ（ビエラ）と接続すると、連動操作が可能になります。

映像・音声端子 でテレビと接続する場合は
123 ページ

お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  当社製 HDMI ケーブル
  品番：RP-CDHS10（1.0 m）、RP-CDHS15（1.5 m）、
  RP-CDHS20（2.0 m）、RP-CDHS30（3.0 m）など
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

混合している複数の電波を BS･CS と UHF･VHF に分波します。

混合している複数の電波を本機とテレビなど複数の機器に分配します。

アンテナ端子が別々の場合

UHF アンテナ

壁のアンテナ端子など

BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

アンテナ線(別売)

BS同軸ケーブル(BS･CS対応)(別売)

アンテナから入力

本機背面

テレビへ出力

HDMI 映像･音声出力

75 Ω同軸ケーブル(付属)

BS同軸ケーブル(BS･CS対応)(別売)

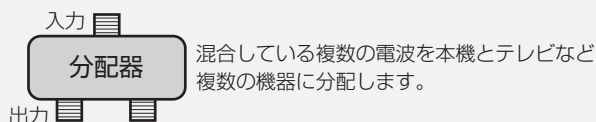
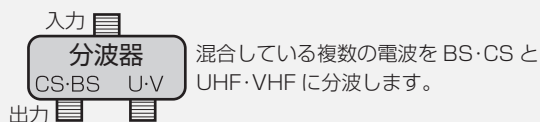
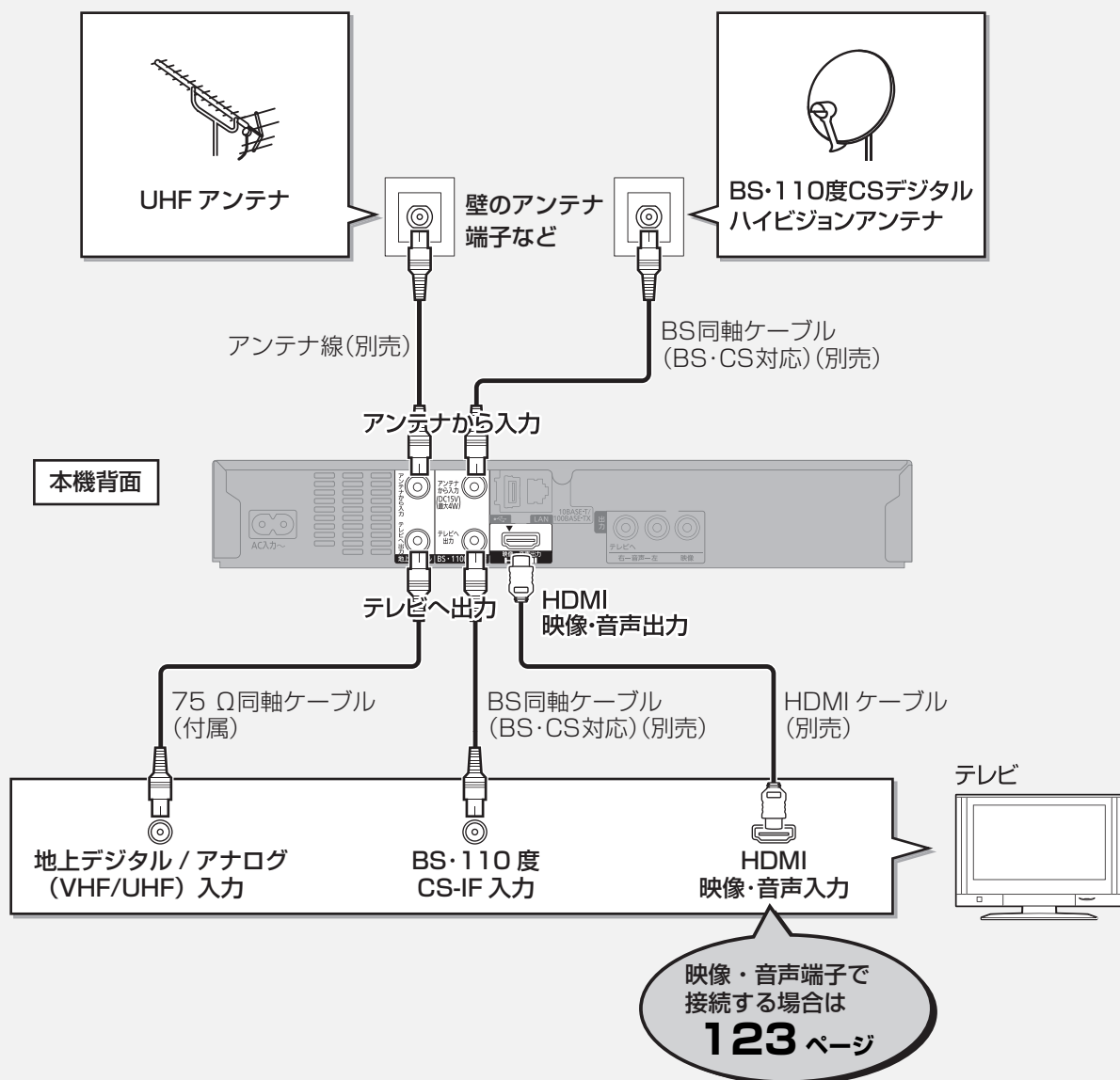
HDMI ケーブル(別売)

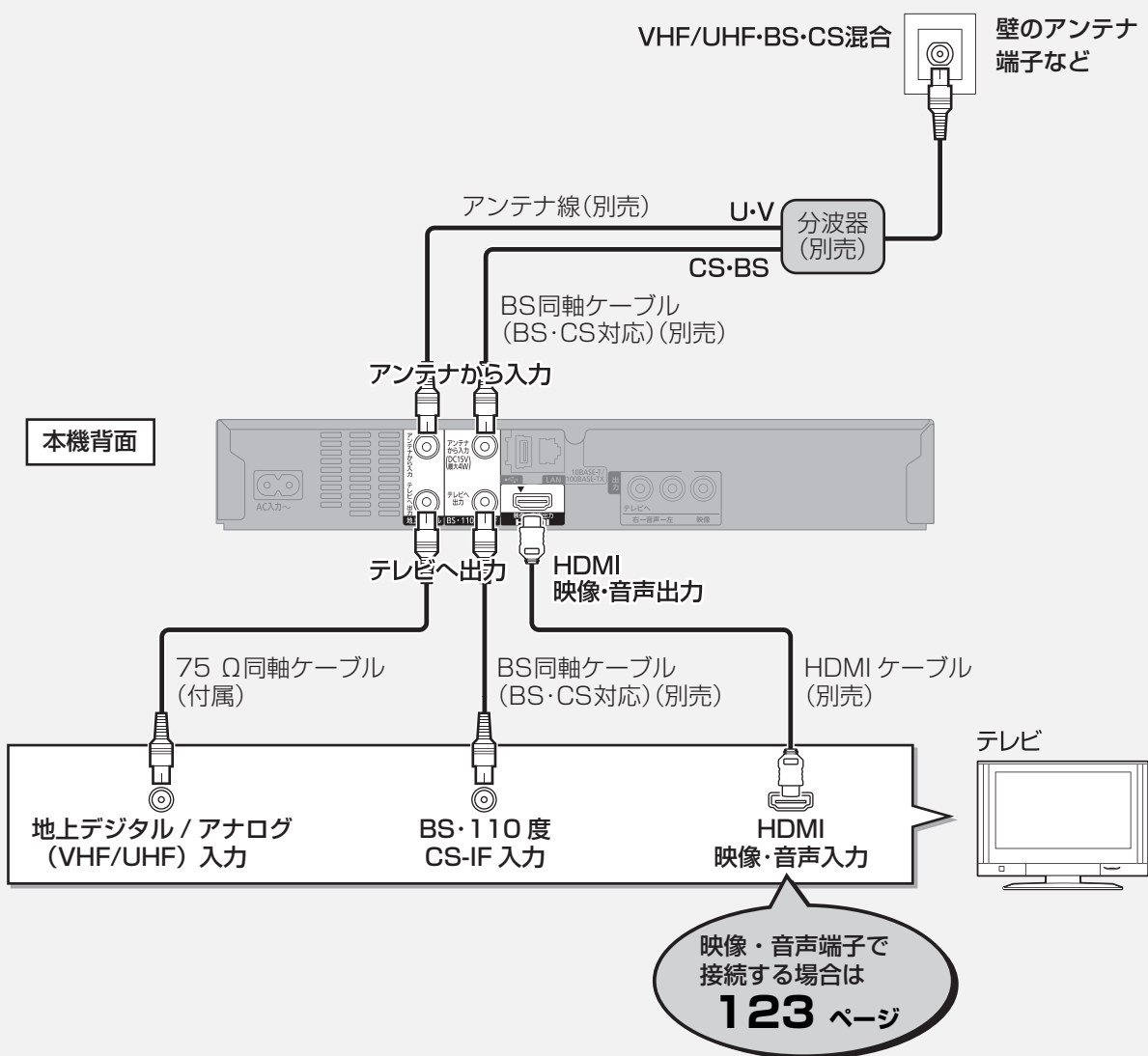
テレビ

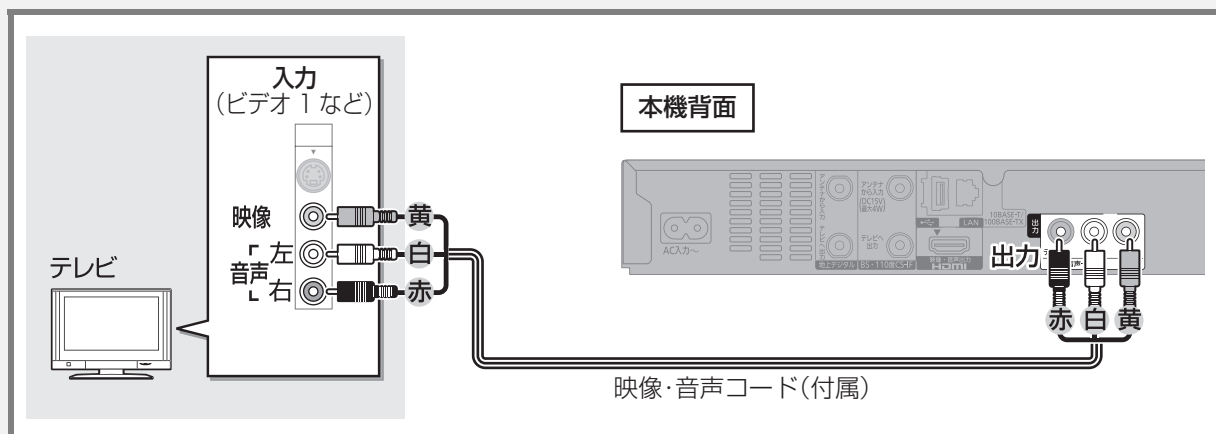
地上デジタル / アナログ（VHF/UHF）入力

BS･110 度 CS-IF 入力

HDMI 映像･音声入力

映像・音声端子で接続する場合は 123 ページ

B アンテナ端子がひとつの場合

映像・音声端子で接続する場合は 123 ページ

映像・音声端子でテレビと接続する

以下の端子を持つテレビに対応しています。

お知らせ

- 本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

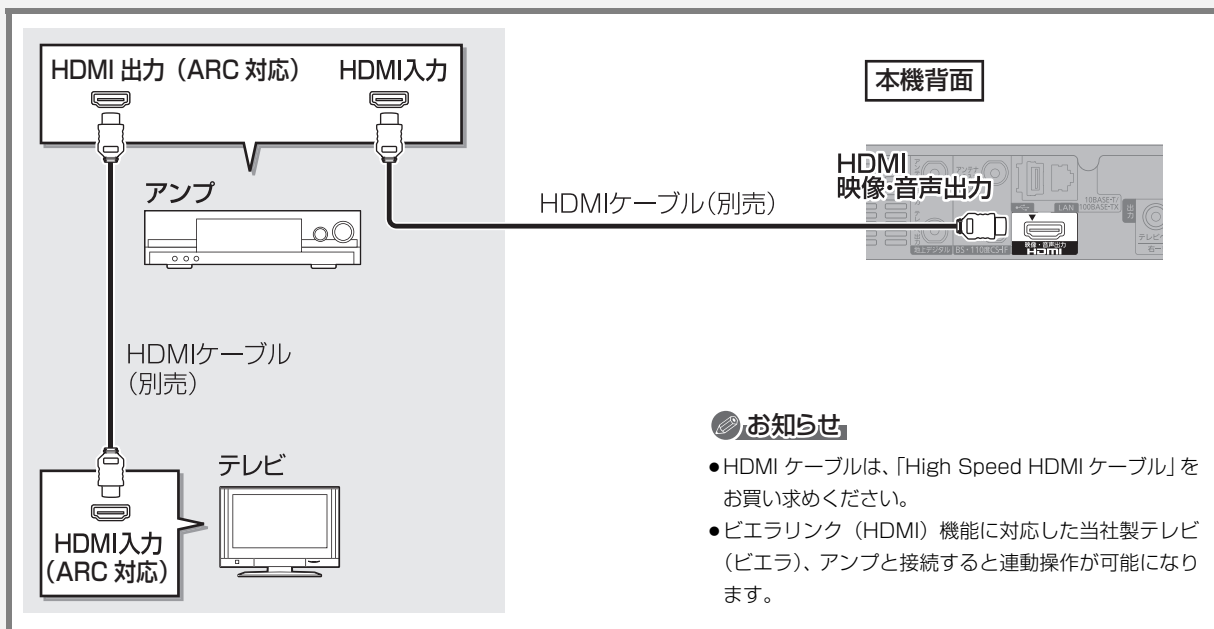
接続3 アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

☞ デジタル出力される音声と接続・設定の関係（➜156）

HDMI 端子で接続する

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
ご家庭のネットワーク環境に合わせて接続（➜126 ～ 128）と、かんたんネットワーク設定（➜132、133）を行ってください。

接続機器につないで

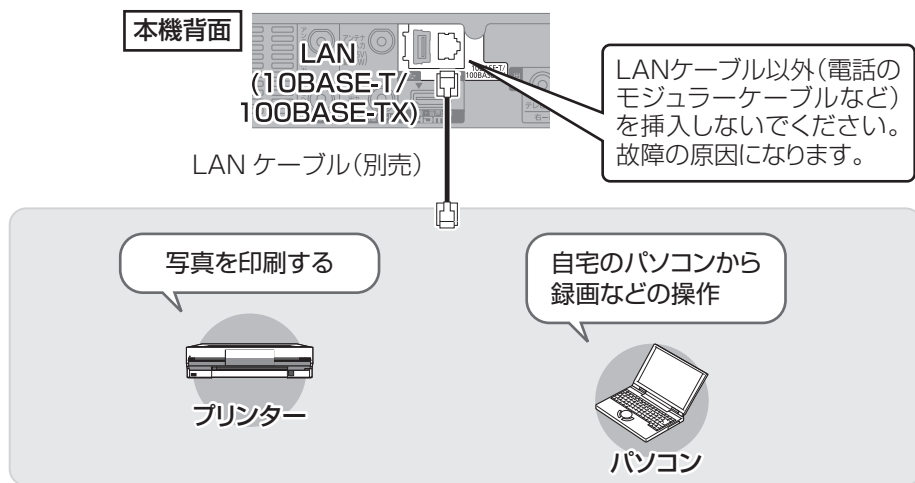
インターネットにつなぐと

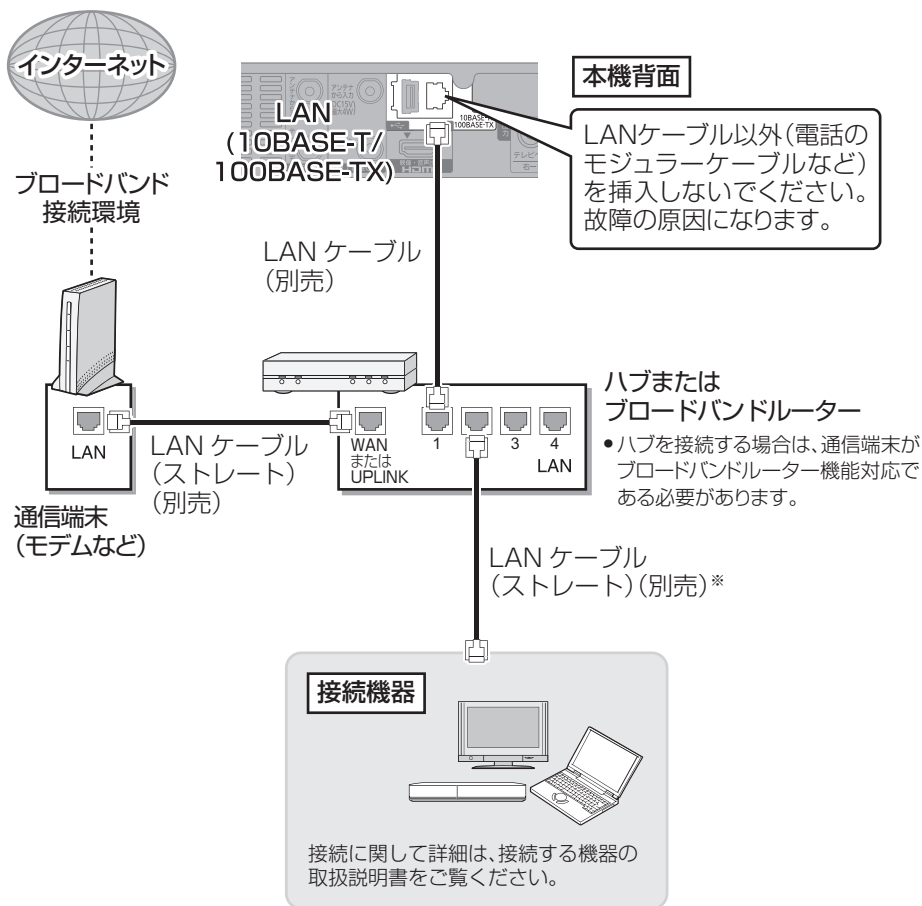
●インターネットを使用するサービスや機能もご利用の場合は、127 ページの接続をしてください。

デジタル放送の情報サービスを利用する
デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。

お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

各機器と直接接続する

●LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

本機を操作できるパソコン（2012 年 9 月現在）

OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ：
Internet Explorer® 6.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
（携帯電話からはご利用いただけません）
http://panasonic.jp/support/bd/

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID･機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（➜108）、再設定してください。
  - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。

対応サービスについて

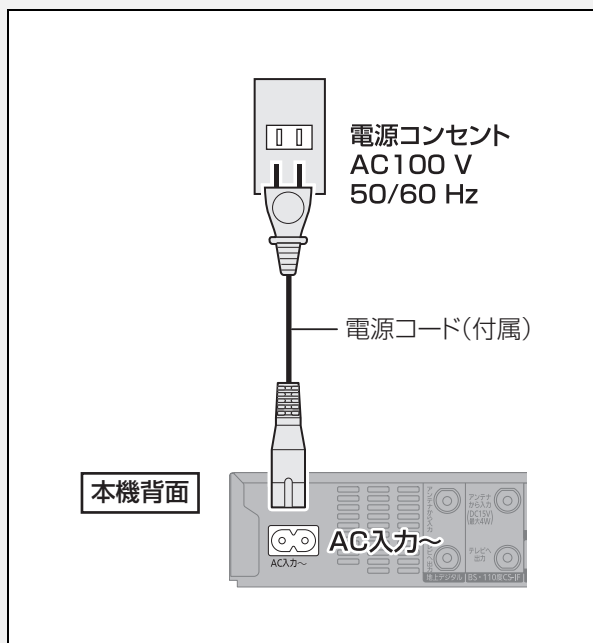
サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（➜108）

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

接続5 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(電源「切」時の消費電力 ➜153)**

●電源コードを抜いている場合：

・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得(**➜100**)はできません。

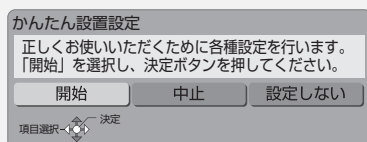
・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

接続／設定

設定1 かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。
設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

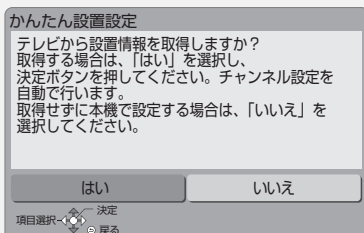
1 リモコンの **を押す**

2 「開始」を選び、決定 を押す

以下の手順でかんたん設置設定を行うこともできます。

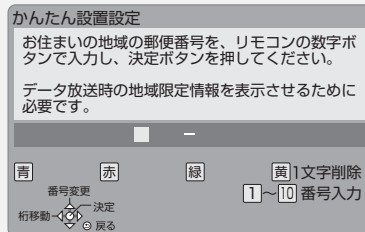
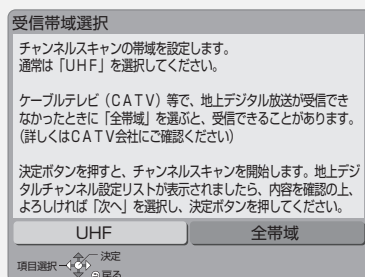
❶ スタート を押す
❷「設定する」を選び、決定 を押す
❸「放送設定」を選び、決定 を押す
❹「かんたん設置設定」を選び、決定 を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

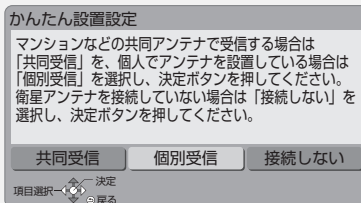
テレビから設置情報を取得

ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと HDMI ケーブルで接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。

設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

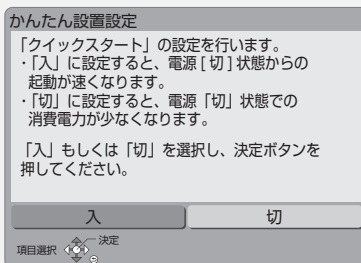
地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

地上デジタル放送チャンネルの設定

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する／確認する」を選んでください。（➜99「マニュアル」）

衛星アンテナ設定

かんたん設置設定
マンションなどの共同アンテナで受信する場合は「共同受信」を、個人でアンテナを設置している場合は「個別受信」を選択し、決定ボタンを押してください。衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択し、決定ボタンを押してください。
共同受信 個別受信 接続しない
項目選択 決定 戻る

「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入（オン）」にする設定をしてください。

クイックスタートの設定

かんたん設置設定
「クイックスタート」の設定を行います。
・「入」に設定すると、電源［切］状態からの起動が速くなります。
・「切」に設定すると、電源「切」状態での消費電力が少なくなります。
「入」もしくは「切」を選択し、決定ボタンを押してください。
入 切
項目選択 決定

●「ビエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

かんたん設置設定終了後、引き続き「かんたんネットワーク設定」（➜132）を行うことができます。

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

●待機時消費電力が増えます。
●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前４時ごろ（１週間に１〜３回程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体の電源ランプが赤に点滅し、**[電源 ⏻]** 以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）

お知らせ

●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。（➜100）
●テレビに映像が映らない場合は
・テレビの入力を確認してください。（**➜23「本機の映像をテレビに映す」**）
・接続を確認してください。（➜119〜129）
・テレビの HDMI 端子に接続している場合は、以下の操作を行うと映像が映ります。
① **［決定］** と **［青］** と **［黄］** を同時に5秒以上押す
・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② **［▶］** を数回押して、本体の“SD”ランプを点滅させる
③ **［決定］** を３秒以上押す
・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。

設定を中止するには
［戻る］ を押す

設定2 かんたんネットワーク設定をする

「かんたん設置設定」(➜130 ～ 131)のあと
(➜ 右記「ネットワーク設定を行う」へ)

以下の手順でかんたんネットワーク設定を行うこともできます。

❶ スタート を押す

❷ 「設定する」を選び、決定 を押す

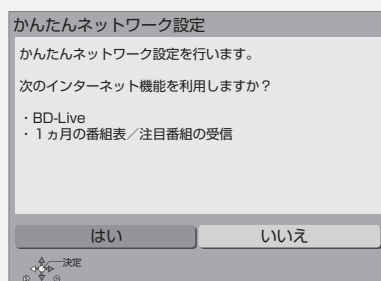
❸ 「初期設定」を選び、決定 を押す

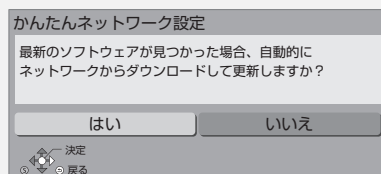
❹ 「かんたんネットワーク設定」を選び、決定 を押す

お知らせ

接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。

ネットワーク設定を行う

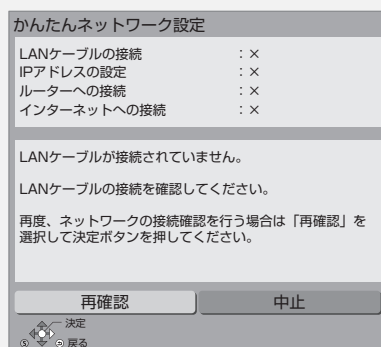
例)

画面の指示に従って設定を行ってください。

以下のような画面が表示された場合

「はい」を選ぶと、ネットワークを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認やソフトウェアの更新を自動的に行うようになります。

●本機のソフトウェア更新には、デジタル放送を利用した方法(オンエアーダウンロード)とネットワークを利用した方法があります。
(➜109「ソフトウェアの更新について」)

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例)

「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続 (➜127)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜105)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (➜105)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(➜105) やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 (➜105) ●ルーターなどの設定

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送　(地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

●ワンセグ放送の録画はできません。

BS デジタル放送　(BS デジタル)

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

●WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送　(CS デジタル)

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

●110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」※への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー! e2」※には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

※「スカパー! e2」は 2012 年 9 月 29 日より「スカパー!」に名称変更します。

お問い合わせ先

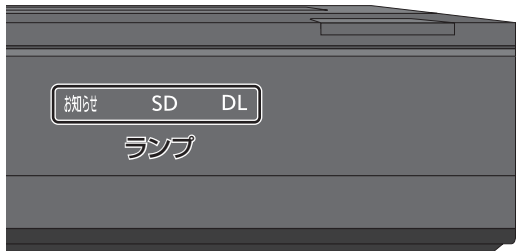
スカパー! カスタマーセンター（総合窓口）
0570-039-888（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHS の方は 03-4334-7777）
受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休）

スカパー! 公式ホームページ
http://www.skyperfectv.co.jp/

お知らせ

- **miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- 有料放送の視聴や録画をするには、放送会社と契約した miniB-CAS カードが必要です。付属の miniB-CAS カードで契約してください。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

こんな表示が出たら

本体のランプの状態に応じて、下記の項目を確かめてください。

●下記の操作をしてもランプが消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➔162)へ修理を依頼してください。

本体のランプの状態	調べるところ・原因・対策
お知らせ：6回点滅　SD：消灯　DL：消灯	●本体とリモコンのリモコンモードが異なっているため、本機を操作することができません。 以下の操作で本体とリモコンの設定を一度お買い上げ時の状態に戻してください。 ① 電源「切」時に、本体の [▲ 開/閉] を押す ●ディスクトレイが開きます。 ② 本体の [▲開/閉] を 10 秒以上押す ●ディスクトレイが閉まります。 ③ リモコンの [決定] と [1] を 3 秒以上押す リモコンモードが「1」になります。必要に応じて設定を変更してください。(➔106) ●リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます)
お知らせ：消灯　SD：消灯　DL：点灯	●ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中です。“DL”ランプが消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
お知らせ：点灯　SD：点灯　DL：消灯	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。ランプが消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、側面や背面の通風孔の周りを空けてください。
お知らせ：点灯　SD：点滅　DL：点灯	●本機が正常に動作しません。本体の [電源⏻/I] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯　SD：点滅　DL：消灯	●本体動作に異常が確認されたため、正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯　SD：消灯　DL：点滅	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯　SD：点灯　DL：点滅	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

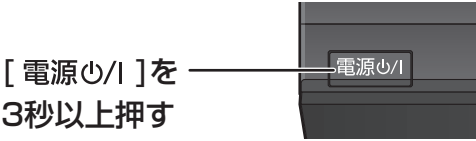
以下の動作音は、故障ではありません

- ●周期的なディスクの回転音（ダビング時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- ●電源切 / 入時の音
- ●以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
  - ·電源切 / 入時
  - ·番組表データを受信中
  - ·ソフトウェア更新中
  - ·録画中
  - ·「ビエラリンク録画待機」(➜103）の「入」時
  - ·予約録画終了時または午前４時ごろ（1 週間に１～３回程度）の、本機全体の自動再起動時
本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

●各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**

●切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。

（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●リモコンが正しく働いていないことがあります。(➜138)

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **[スタート]** を押す

②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す

③「設定する · その他の機能」を選び、**[決定]** を押す

④「メール / 情報 · 診断コード」を選び、**[決定]** を押す

⑤「診断コード」を選び、**[決定]** を押す

⑥ **[黄]** を 5 秒以上押す

⑦「はい」を選び、**[決定]** を押す

●診断を開始します。

●診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

例）

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」(➜100) やビエラリンク（HDMI）の電源オフ連動（➜85)、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ビエラリンク（HDMI)をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

USB-HDD の電源が切れない

- 本機の設定によっては、電源を「切」にしても USB-HDD の電源が切れない場合があります。

テレビ画面や映像

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
  - ･かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき（➜131）
  - ･「アンテナ電源」を「入」にしているとき（➜94）
- 「アンテナ出力」(➜94) を「入」にしてください。
  「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
- 一度「アッテネーター」(➜96) の設定を切り換えてみてください。

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

- 「かんたん設置設定」(➜130) をやり直してください。

映像が映らない
映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(➜23、119 ～ 129)
- 以下の場合、故障ではありません。
  - ･気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
  - ･BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- HDMI 端子接続時：
  - ･HDCP（不正コピー防止技術）非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器（パソコンのディスプレーなど）によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
  - ･以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
    - -「24p 出力」(➜104) が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
  - ･「Deep Color 出力」(➜104) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(➜104) を「切」にしてください。
- 24p 素材を含む番組を再生時、HDMI 端子以外からの映像が映らない場合があります。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
  HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に 変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜103) が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される
画面の横縦比がおかしい

- 「画面モード切換」(➜31) で調整してください。
  （テレビのアスペクト設定でも調整できます）
- 「TV アスペクト」(➜103) の設定を接続したテレビに合わせてください。

再生時の映像に残像が多い

- 「HDオプティマイザー」(➜62) を「切」にしてください。

ボタン操作

リモコンが働かない

●本体の“お知らせ”ランプが6回点滅していませんか。本体とリモコンのリモコンモード(➜106)が異なっています。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。
以下の操作で本体とリモコンの設定を一度お買い上げ時の状態に戻してください。

① 電源「切」時に、本体の [▲ 開/閉] を押す
●ディスクトレイが開きます。
② 本体の [▲開/閉] を 10 秒以上押す
●ディスクトレイが閉まります。
③ リモコンの [決定] と[1] を 3 秒以上押す
・リモコンモードが「1」になります。
必要に応じて設定を変更してください。
(➜106)

●リモコンモード(➜106)を「4」~「6」に設定している場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます)
●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色付きガラスも含む)などがありませんか。
●テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。
(➜107)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

●本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。リモコンモードを変更してください。
(➜106)

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。

① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② [▶] を押して、本体の“DL”ランプを点灯させる
③ [決定] を押す
・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。

(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

表示

“録画”が点滅している

●以下の場合、点滅します。
・予約録画の開始時刻の約３分前から開始時刻までの間
・アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき
・miniB-CAS カードが抜けて録画できないとき
・HDD の残量がなくて録画できないとき

残量表示が使用した量と違う

●残量表示は実際より増減することがあります。

残量表示が画面によって異なる

●残量表示は、予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

●スタート画面の「全機能から選ぶ」で「設定する・その他の機能」を選び、「お好み設定リセット」を行ってください。(➜28)

音声

音声が出ない

●ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。

サラウンドの音声が出ない

●接続するアンプによっては、音声が2チャンネルになる場合があります。
「音質効果」を「切」または「ナイトサラウンド」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

●スピーカーの接続を確認してください。
●5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(➜102)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

●接続機器の設定を確認してください。
●マルチ音声は、テレビやアンプ側で切り換えることができません。レコーダーで切り換えてください。
●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクがあります。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」（➜96）でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
  映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
  ・「アッテネーター」（➜96）の設定を切り換える。
  ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムの場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

- BS・110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやアンテナ線、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。
- 「受信アンテナ設定」（➜97）でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS・110 度 CS デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
  ・「アンテナ電源」（➜97）を「入」にしてください。
  ・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

WOWOW やスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

- 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。
- 契約した miniB-CAS カードを挿入してください。

データ放送が見られない

- 録画中にデータ放送は見られません。

字幕や文字スーパーが出ない

- 字幕や文字スーパーのある番組の場合、「字幕設定」（➜95）の「字幕」や「文字スーパー」を「入」にしてください。

番組表

番組表データが受信できない

- 番組表で番組情報を表示させたい局を選んで［決定］を押すと、番組表データを受信できます。
- お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱い場合など）は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。

番組表データが更新されない

- データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、更新されません。前回受信したデータが残ります。
データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。
（データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。）

1ヵ月の番組表や注目番組が受信できない

- ネットワークの接続と設定を確認してください。
- 「通信による G ガイド受信」（➔94）の設定を「入」にしてください。

放送局のチャンネルが表示されなくなった

- サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

ディスク

記録できない

- 本機は DVD ディスクには記録できません。
- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。
（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください）。
- 本機以外のブルーレイディスクレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。

録画

録画できない

- ディスクには予約録画のみ可能です。

故障かな !? （続き）

予約録画

予約録画ができなかった

●HDD の残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。**[予約確認]** を押して、予約内容を確認してください。

ディスクに予約録画ができない

●ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
●以下の場合、ディスクに予約録画できません。
・未フォーマットのディスク
・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク
・DVD ディスク

BS･110度CSデジタル放送の予約録画ができない

●BS･110 度 CS デジタルアンテナに電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。アンテナへの電源供給が必要です。
・個別に BS･110 度 CS デジタルアンテナを設置している場合、「アンテナ電源」(➜97) を「入」にしてください。
・分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。

番組追従機能が働かない

●時間指定予約では働きません。
●放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。

再生

録画した番組が見つからない

●毎日・毎週予約や関連番組まとめて予約で録画した番組は、録画一覧（まとめ表示）では、まとめて表示されます。
まとめ が付いた番組を選んで、**[決定]** を押すと、録画した番組がすべて表示されます。
●録画一覧で **[サブ メニュー]** を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。
●「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。

再生できない

●ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。

番組の先頭から再生が始まらない

●再生を停止すると、停止した位置を記憶します。以下の手順で先頭から再生することができます。
・HDD の場合
① 録画一覧表示中に、番組を選んで **[サブ メニュー]** を押す
②「先頭から再生」を選んで **[決定]** を押す
・ディスクの場合
ディスクトレイを開閉して再生する。（トレイを開けると、停止位置が解除されます）

映像が乱れたり、正しく再生されない

●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
●映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。

なめらかに再生されない（映像や音声が一瞬止まる）

●以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。［「シームレス再生」（➜102）を「入」に設定しても改善されません］
・他機器で 2 倍速対応以下の DVD に記録した 1.5 倍録、1.6 倍録、1.8 倍録、2 倍録モードの番組
・「信号切換」（➜61）の「字幕」を「入」にして再生
・シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
・片面 2 層の -R の層の変わり目
●取り込んだハイビジョン動画など、転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

字幕が出ない、切り換えられない

●BDビデオやDVDビデオに字幕が収録され、「字幕情報」（➜61）が「入」になっていますか。
●本機で録画した番組は、「信号切換」（➜61）の「字幕」を「入」にしてください。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

●「音声情報」、「字幕情報」（➜61）ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
① ［決定］と［青］と［黄］を同時に 5 秒以上押す
　・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② ［▶］を数回押して、本体の“SD”ランプを点灯させる
③ ［決定］を 3 秒以上押す
　・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。

ダビング

ダビングできない

●市販やレンタルのブルーレイディスクなどコピー禁止処理された映像はダビングできません。
●チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
● BD-RE BD-R 番組分割した番組は、HDDにダビングできない場合があります。
● USB-HDD には「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません。

高速ダビングに時間がかかる

●ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
●「高速ダビング速度」（➜101）の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

●高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」（➜101）を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

編集

編集できない

- HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去してください。
- 以下のディスクの場合、編集できません。
  - ・ファイナライズ済みのディスク
  - ・RAM -R -RW AVCHD のディスク
  - ・他社製機器で記録したディスク
  - ・パソコンで記録したディスク

番組を消去しても残量が増えない

- BD-R 消去しても増えません。

部分消去の開始点や終了点が設定できない

- 開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

- 本機ではプレイリストの作成はできません。

動画

撮影した動画が再生できない

- USB 機器のハイビジョン動画（AVCHD）は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。
- 他機器で 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

撮影した動画がSDカードからダビングできない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。

撮影した動画が USB 接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。

写真

撮影した写真が再生できない
SD カードから取り込めない

●本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
●パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
●本機に対応していないSDカードは使用できません。

撮影した写真が USB 接続で取り込めない

●本機とデジタルカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
●本機と接続するための設定が、デジタルカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
●デジタルカメラ側に SD カードが正しく入っているか確認してください。

撮影した写真の取り込みに時間がかかる

●ファイル数やフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。

ビエラリンク（HDMI）

ビエラリンク（HDMI）が働かなくなった

●ビエラリンク（HDMI）が働かなくなった場合、以下の操作をお試しください。
①本体の [**電源** ⏻/I] を約 3 秒間押し続けて電源を切った後、電源を入れ直す
② HDMI ケーブルを抜き差しする
③「ビエラリンク制御」(➔103) の設定を切 / 入する
●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンクが動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。
●本機はアンプの「ワンタッチ再生」には対応していません。

「番組ぴったりサウンド」が働かない

●「オートサウンド連携」が「入」になっていますか。
●接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。
その場合、テレビ（ビエラ）の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。

録画や番組キープの開始に時間がかかる

●「ビエラリンク録画待機」が「切」になっている場合、数十秒かかります。「入」に設定してください。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

●通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
●ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。
●ネットワークに関しては、当社ホームページ（➔3）をご覧ください。

表示マーク一覧

●本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

マーク	内容
テレビ	テレビ放送(映像＋音声)の番組
データ	データ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
コピー制限	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
●●● 信号	複数の映像または音声(マルチ音声)を含んだ番組
字幕	字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比(16:9、4:3) 下：信号方式 (デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i)
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
有料	有料放送の番組 (放送会社との契約が必要です)
20 才～	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4～20才まであります)
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組

予約一覧画面

アイコン	説明
録画可能	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
番組予約	番組表を使って予約した番組
時間指定	時間指定予約で予約した番組
	録画できない場合があるときなどに表示されます。[決定]を押して、予約内容を確認してください。
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日·毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日·毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日·毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日·毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)
録画済	番組表を使って毎日·毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
お知らせ	1か月より先の番組予約です。 1か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
関連番組	関連番組まとめて予約で自動的に予約された番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
探して毎回★	テレビ(ビエラ)側から「探して毎回予約」で予約した番組
自動予約	宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組

表示マーク一覧（続き）

予約一覧画面（続き）

マーク	内容
残量不足	HDD の残量が不足していて録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組

マーク	内容
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組
代替	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
	録画中の番組

録画一覧、写真一覧画面

マーク	内容
	新しく録画してまだ見ていない番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	HDDに代替録画された番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組
	HDD に録画中の番組
	HDD にダビング（複製）中の番組
	HDD に録画・ダビング（複製）が終了した番組（画像は電源「切」時に作成されます）
	取り込んだ 1080/60p（1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組

マーク	内容
	書き込み禁止（プロテクト）設定した番組や写真
	HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど再生できない番組
（数字は10~2）	本機で録画したコピー制限のある番組。数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。
（赤）	本機で録画したコピー制限のある番組。ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
	ダビングできない番組
	新しく取り込んだ写真
	録画中の番組
	宅外リモート接続機能を使って自動予約録画された番組

ダビング番組一覧画面

アイコン	説明
	録画した番組 取り込んだ動画(AVCHD)
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)
	静止画を含むもの (HDDに静止画部分はダビングされません)
1080 60p	取り込んだ 1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組

アイコン	説明
10 (数字は 10~2)	本機で録画したコピー制限のある番組。数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。
	本機で録画したコピー制限のある番組。ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
	ダビングできない番組
	ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。

番組表

アイコン	説明
	録画予約している番組
	「新番組おまかせ録画」で予約された番組

用語解説

A **AAC**（エーエーシー）
(Advanced Audio Coding)（アドバンスド オーディオ コーディング）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエイチディー）

高精細なハイビジョン映像を記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

AVCHD Progressive（エーブイシーエイチディー プログレッシブ）

高精細なハイビジョン映像を、1080/60p（1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

B **BD - J**（ビーディー ジェイ）

BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

D **Deep Color**（ディープ カラー）

8 bit 以上の色情報を扱える高色域規格の 1 つです。Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を 8 bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

Dolby Digital（ドルビー デジタル）

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus（ドルビー デジタル プラス）

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。

Dolby TrueHD（ドルビー トゥルーエイチディー）

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS（ディーティーエス）
(Digital Theater Systems)（デジタル シアター システムズ）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD（ディーティーエス エイチディー）

映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

H HDD（ハードディスクドライブ）

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の 1 つです。表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I HDMI（エイチディーエムアイ）
（High-Definition（ハイ デフィニション） Multimedia（マルチメディア） Interface（インターフェース））

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

J JPEG（ジェイペグ）
（Joint（ジョイント） Photographic（フォトグラフィック） Experts（エキスパーツ） Group（グループ））

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと､元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L LPCM（エルピーシーエム）（リニア PCM（ピーシーエム））

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

M MAC（マック） アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

P PCM（ピーシーエム）
（Pulse（パルス） Code（コード） Modulation（モジュレーション））

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の 1 つで、手軽にデジタル音声が楽しめます。

U USB（ユーエスビー）
（Universal（ユニバーサル） Serial（シリアル） Bus（バス））

周辺機器を接続するための規格の 1 つです。

V VBR（ブイビーアール）
（Variable（ヴァリアブル） Bit（ビット） Rate（レート））

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

用語解説（続き）

1080p、1080i、720p、480p、480i
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i= 飛び越し走査）は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数に当たる 1125p、1125i、750p、525p、525iと表示されることもあります。

24p
毎秒 24 フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

ダウンミックス
サラウンドの音声を 2 チャンネルなどに混合することです。

ファイナライズ
番組を記録したブルーレイディスクなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フォーマット
記録前のブルーレイディスクなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

プログレッシブ (p) / インターレース (i)
インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を 1 回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

ムーブバック
コピー制限のあるデジタル放送の番組を BD-RE や BD-R などから HDD に移動させることができる機能です。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：
動作時：約 14 W
待機時（クイックスタート「切」）：
電源ランプ点灯時・約 0.3 W※1
電源ランプ消灯時・約 0.15 W※1
待機時（クイックスタート「入」）：
電源ランプ点灯時・約 3.5 W※1※2
電源ランプ消灯時・約 3.4 W※1※2

※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「切」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「切」
・外部接続端子（LAN、USB）：未接続
※ 2・HDMI 出力解像度：1080i
待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名※3	—
年間消費電力量※4	14.9 kWh/ 年
省エネ基準達成率※3	—

※ 3　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
※ 4　表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

■本体
寸法：
幅 297 mm×高さ 49 mm×奥行 199 mm（突起部含まず）
幅 297 mm×高さ 49 mm×奥行 209 mm（突起部含む）
質量：約 1.6 kg
許容周囲温度：5 ℃～40 ℃
許容相対湿度：10%～80%RH （結露なきこと）

■テレビジョン方式
アンテナ受信入力：
地上デジタル入力：
90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω（VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）
BS・110度CSデジタル -IF 入力：
1032 MHz～2071 MHz （IF入力周波数）75 Ω
電源供給：DC 15 V、最大4 W

■入出力端子（映像・音声を除く）
SDメモリーカードスロット：1系統
LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX）
USB 端子：背面 1 系統（DC 5 V　MAX 500 mA）

■映像
記録圧縮方式：
MPEG-2（Hybrid VBR）
MPEG-4 AVC/H.264（再生時やダビング、AVCHD 取り込み時のみ）
映像出力：
出力端子：1系統（ピンジャック）
出力レベル：1.0 Vp-p　75 Ω
HDMI映像・音声出力：
出力端子：1 系統（19 ピン　typeA 端子）
（480p/1080i/720p）

■音声
記録・再生圧縮方式：
MPEG-2 AAC：最大 5.1ch 記録
Dolby Digital：2ch 記録
アナログ出力：
出力端子：2ch出力、1 系統（ピンジャック）
出力レベル：
FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力インピーダンス：1 kΩ（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル出力：
HDMI 映像・音声出力端子：1 系統

■SD 部
対応カード：
SD カード：FAT12/FAT16
SDHC カード：FAT32
SDXC カード：exFAT

■USB 部
バージョン：ハイスピード USB（USB2.0 準拠）
対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32
USB-HDD 対応：USB-HDD（160 GB 以上 3 TB 以下）
最大 8 台まで登録可能

仕様（続き）

■写真

画素数：

34 × 34 ～ 8192 × 8192

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

解凍時間※5**：**約2秒（1010万画素）

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、SD カード

再生のみ可能メディア：

BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
  - ・MOTION JPEG 非対応

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500※6

ファイル数：

- HDD：最大 20000
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000※7

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF ：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※5 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※6 最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数
（ルートもフォルダとして数える）

※7 最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数
（JPEG のファイル合計）

■記録時間の目安

放送種別		内蔵HDD (320 GB)	BD-RE、BD-R			
			128 GB (片面４層) ※8	100 GB (片面３層)	50 GB (片面２層)	25 GB (片面１層)
BS デジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 29 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
	SD放送 (≦12 Mbps)	約58時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
地上 デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 40時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間

※ 8　片面４層は BD-R のみ。2012 年 9 月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。

- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- 録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。

■記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD ：1000（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- BD-RE BD-R ：200
- USB-HDD ：1000（撮影ビデオ、写真は記録できません）

■予約可能番組数

128（予約可能期間：１年間）

■最大チャプターマーク数（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- HDD USB-HDD ：１番組当たり約 999 個
- BD-RE※9 BD-R※9：ディスク当たり約 999 個

※ 9　BDXL は約 20000 個

- BD-RE BD-R ：１番組当たり約 100 個

必要なとき

仕様（続き）

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream※10</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・
操作音」の設定</th><th>入※11</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの
音声で出力</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス 2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES</td><td rowspan="3">DTS Digital
Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High
Resolution Audio</td></tr>
<tr><td>DTS-HD
Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM※12</td></tr>
</table>

※ 10　接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 11　BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」（➔102）を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 12　BD-V 副音声や操作音を含む場合、「BD ビデオ副音声・操作音」の設定が「入」のとき、5.1ch で出力します。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
  DTS、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS 2.0+Digital Out は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。
  © DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive” はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
  （http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［スタート］ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報・診断コード” → “メール／情報” → “ID表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2012年9月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因しまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP12.html

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest.diga@gg.jp.panasonic.com

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP12.html

(5) には以下が含まれます。

1. OpenSSL Toolkit において使用するために、OpenSSL Project によって開発されたソフトウェア
(http://www.openssl.org/)
2. University of California, Berkeley およびその貢献者によって開発されたソフトウェア
3. FreeType コード
4. Independent JPEG Group の JPEG ソフトウェア

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

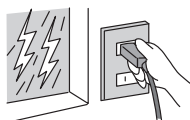
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

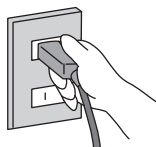
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードやminiB-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

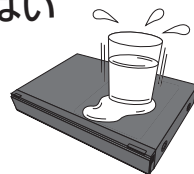
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

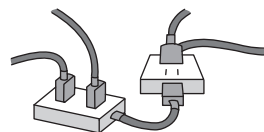
分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

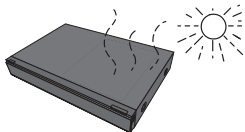
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

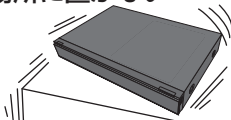
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

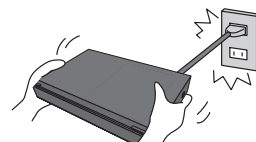
放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面や側面の通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　　月　　日
miniB-CASカード番号	

※ miniB-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（➜136 ～145）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名　ブルーレイディスクレコーダー
- 品　番　DMR-BR130
- 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** ８年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-982**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜136）
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0512

さくいん

英数字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ 行

ページ

必要なとき

た 行

ページ

な 行

ページ

は 行

ページ

ま　行

ページ

や　行

ページ

ら　行

ページ

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-982**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
●上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4M40
F0912TA0